

## 「障害者に関する世論調査」の概要

令和5年2月  
内閣府政府広報室

調査対象	全国18歳以上の日本国籍を有する者3,000人 有効回収数1,765人（有効回収率58.8%）
調査期間	令和4年11月10日～12月18日
調査方法	郵送法
調査目的	障害及び障害者に関する国民の意識を把握し、今後の施策の参考とする。
調査項目	1 障害者と共生社会について 2 障害者との交流について 3 障害者関連施策について
調査実績	「障害者に関する世論調査」 〔昭和62年7月、平成4年8月、平成9年7月、平成13年9月、 平成19年2月、平成24年7月、平成29年8月〕 「障害者の社会参加に関する特別世論調査」（平成17年1月）
関係府省庁	内閣府（政策統括官（政策調整担当））
その他	1 新型コロナウイルス感染症の状況に鑑み、調査員と調査対象の方との接触を回避するため、郵送法で実施した。 2 平成29年8月調査までは調査員による個別面接聴取法で実施しているため、郵送法で実施した令和4年11月調査との単純比較は行わない。 また、平成27年度までは、調査対象者の年齢が20歳以上であったが、平成28年度以降は18歳以上の方を調査対象に実施している。 3 図表の数値（%）は、表章単位未満の位で四捨五入しているため、内訳の合計が100にならないこともある。

1 障害者と共生社会について

(1)「共生社会」の周知度

問1. あなたは、障害のある・なしにかかわらず、誰もが社会の一員としてお互いを尊重し、支え合って暮らすことを目指す「共生社会」という考え方を知っていますか。(○は1つ)

令和4年11月

- ・知っている 48.5%
- ・言葉だけは聞いたことがある 31.5%
- ・知らない 19.3%

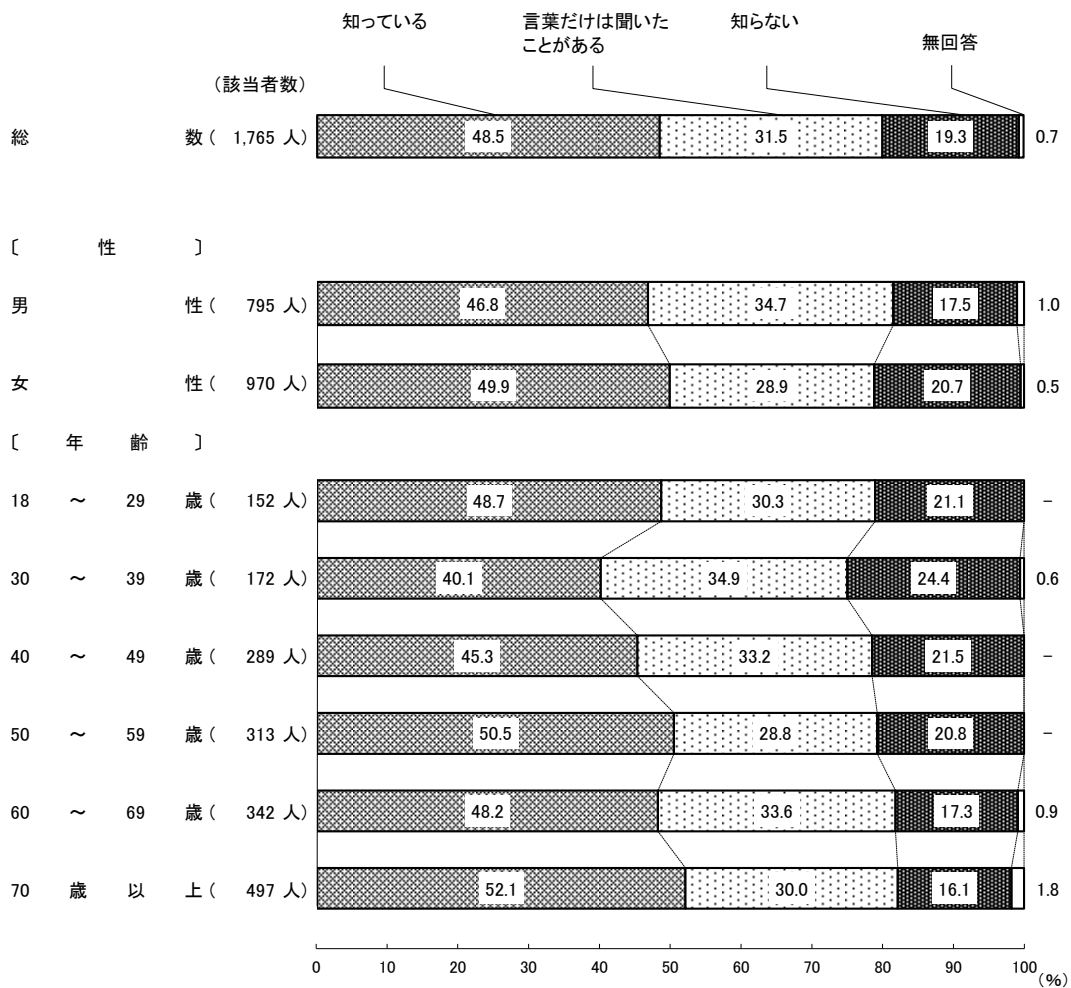


表1 「共生社会」の周知度

	該 当 者 数	知 つ て い る	言葉 だけ は聞 いた こと があ る	知 ら な い	無 回 答
	人	%	%	%	%
総 〔都市規模〕 数	1,765	48.5	31.5	19.3	0.7
大 都 市	510	47.6	31.4	19.6	1.4
東 京 都 区 部	128	51.6	31.3	14.8	2.3
政 令 指 定 都 市	382	46.3	31.4	21.2	1.0
中 都 市	726	50.4	30.6	18.5	0.6
小 都 市	385	46.5	33.0	20.3	0.3
町 村	144	47.2	32.6	19.4	0.7
〔性〕					
男 性	795	46.8	34.7	17.5	1.0
女 性	970	49.9	28.9	20.7	0.5
〔年齢〕					
18 ～ 29 歳	152	48.7	30.3	21.1	-
30 ～ 39 歳	172	40.1	34.9	24.4	0.6
40 ～ 49 歳	289	45.3	33.2	21.5	-
50 ～ 59 歳	313	50.5	28.8	20.8	-
60 ～ 69 歳	342	48.2	33.6	17.3	0.9
70 歳 以 上	497	52.1	30.0	16.1	1.8

表1-参考 「共生社会」の周知度

	該 当 者 数	知 つ て い る	言葉 だけ は聞 いた こと があ る	知 ら な い
	人	%	%	%
平成19年2月調査	1,815	40.2	21.2	38.6
平成24年7月調査	1,913	40.9	24.2	35.0
平成29年8月調査 (うち20歳以上)	1,740	46.5	19.6	33.9
平成29年8月調査	1,771	46.6	19.6	33.7

(注) 平成29年8月調査までは、調査員による個別面接聴取法で実施しているため、令和4年11月調査との単純比較は行わない。

(2)「共生社会」の考え方について

問2. 国や地方公共団体では、「共生社会」の考え方に基づいて、障害のある人もない人も共に生活できるための環境づくりを進めています。あなたは、この「障害のある人が身近で普通に生活しているのが当たり前だ」という考え方について、どう思いますか。(○は1つ)

令和4年11月

当たり前だと思う (小計)	93.9%
・当たり前だと思う	64.8%
・どちらかといえば当たり前だと思う	29.1%
当たり前だと思わない (小計)	5.6%
・どちらかといえば当たり前だと思わない	4.1%
・当たり前だと思わない	1.4%

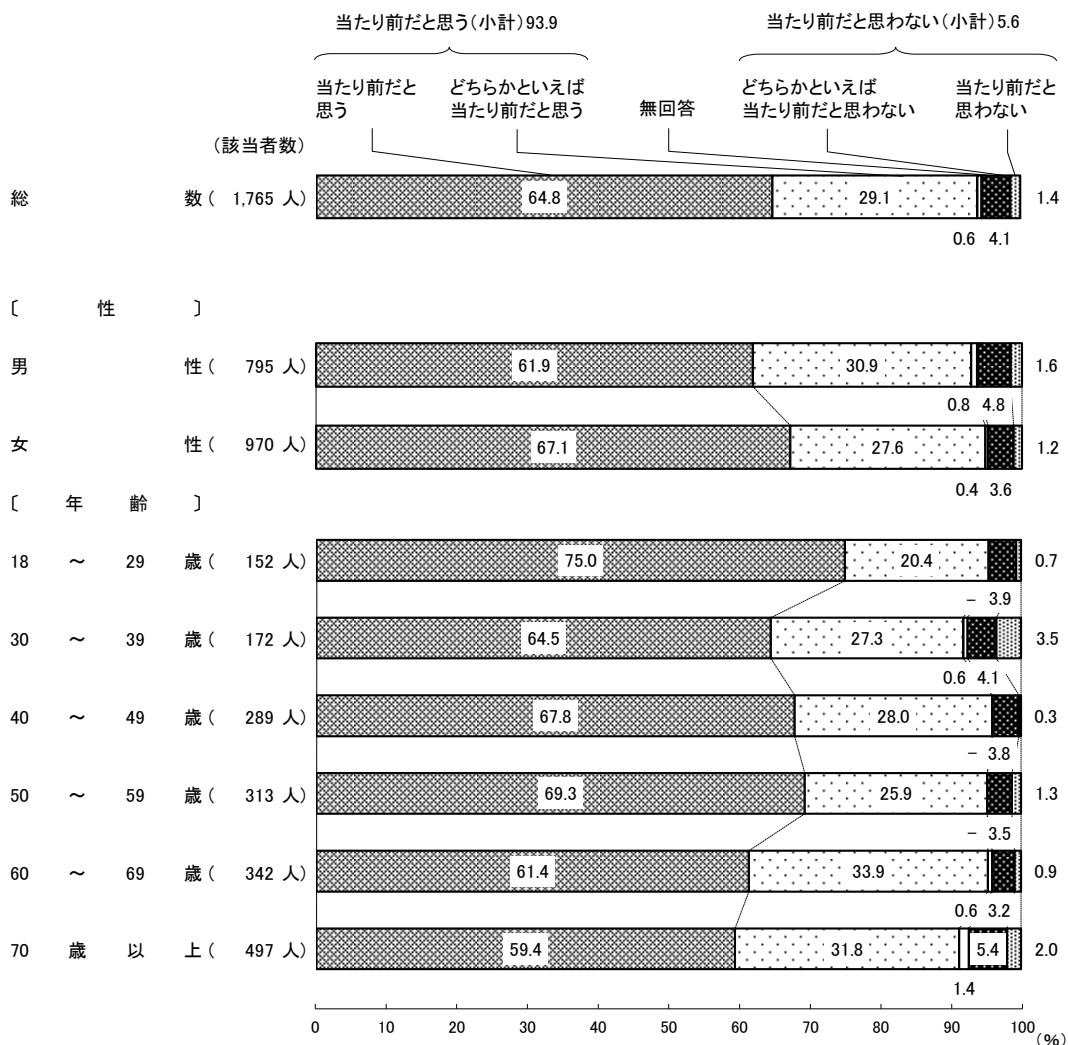


表2 「共生社会」の考え方について

	該 当 者 数	当 た り 前 だ と 思 う (小計)	ど ち ら か と い え ば 当 た り		当 た り 前 だ と 思 わ な い (小計)	ど ち ら か と い え ば 当 た り		無 回 答
			当 た り 前 だ と 思 う	前 だ と 思 う		当 た り 前 だ と 思 わ な い	前 だ と 思 わ な い	
	人	%	%	%	%	%	%	%
総 〔都市規模〕	1,765	93.9	64.8	29.1	5.6	4.1	1.4	0.6
大 都 市	510	94.3	63.1	31.2	4.7	2.7	2.0	1.0
東 京 都 区 部	128	93.0	63.3	29.7	6.3	3.1	3.1	0.8
政 令 指 定 都 市	382	94.8	63.1	31.7	4.2	2.6	1.6	1.0
中 都 市	726	94.8	67.5	27.3	5.0	3.7	1.2	0.3
小 都 市	385	93.0	64.9	28.1	6.8	5.7	1.0	0.3
町 村	144	90.3	56.3	34.0	8.3	6.9	1.4	1.4
〔性〕								
男 性	795	92.8	61.9	30.9	6.4	4.8	1.6	0.8
女 性	970	94.7	67.1	27.6	4.8	3.6	1.2	0.4
〔年齢〕								
18～29歳	152	95.4	75.0	20.4	4.6	3.9	0.7	-
30～39歳	172	91.9	64.5	27.3	7.6	4.1	3.5	0.6
40～49歳	289	95.8	67.8	28.0	4.2	3.8	0.3	-
50～59歳	313	95.2	69.3	25.9	4.8	3.5	1.3	-
60～69歳	342	95.3	61.4	33.9	4.1	3.2	0.9	0.6
70歳以上	497	91.1	59.4	31.8	7.4	5.4	2.0	1.4

表2-参考 「共生社会」の考え方について

	該 当 者 数	そ う (小計)	ど ち ら か と い え ば		そ う 思 わ な い (小計)	ど ち ら か と い え ば		一 概 に い え な い	わ か ら な い
			そ う 思 う	そ う 思 う		そ う 思 わ な い	そ う 思 わ な い		
	人	%	%	%	%	%	%	%	%
平成19年2月調査	1,815	84.8	63.1	21.7	9.3	6.2	3.1	3.4	2.5
平成24年7月調査	1,913	88.4	64.2	24.2	7.9	4.9	3.0	1.9	1.7
平成29年8月調査 (うち20歳以上)	1,740	88.2	63.7	24.5	7.2	4.2	3.0	2.4	2.1
平成29年8月調査	1,771	88.3	63.5	24.7	7.2	4.2	3.0	2.4	2.1

(注) 平成29年8月調査までは、調査員による個別面接聴取法で実施しているため、令和4年11月調査との単純比較は行わない。

(3)「障害者週間」の周知度

問3 . 国は、障害や障害のある人に関する理解と関心を深め、障害のある人の社会参加への意欲を高めるために、毎年12月3日から12月9日までの1週間を「障害者週間」と定めて、さまざまな取り組みを行っています。あなたは、「障害者週間」を知っていますか。  
(○は1つ)

令和4年11月

知っている (小計)	29.1%
・月日も含めて知っている	1.3%
・月日までは知らないが、「障害者週間」があることは知っている	27.8%
知らない	69.9%

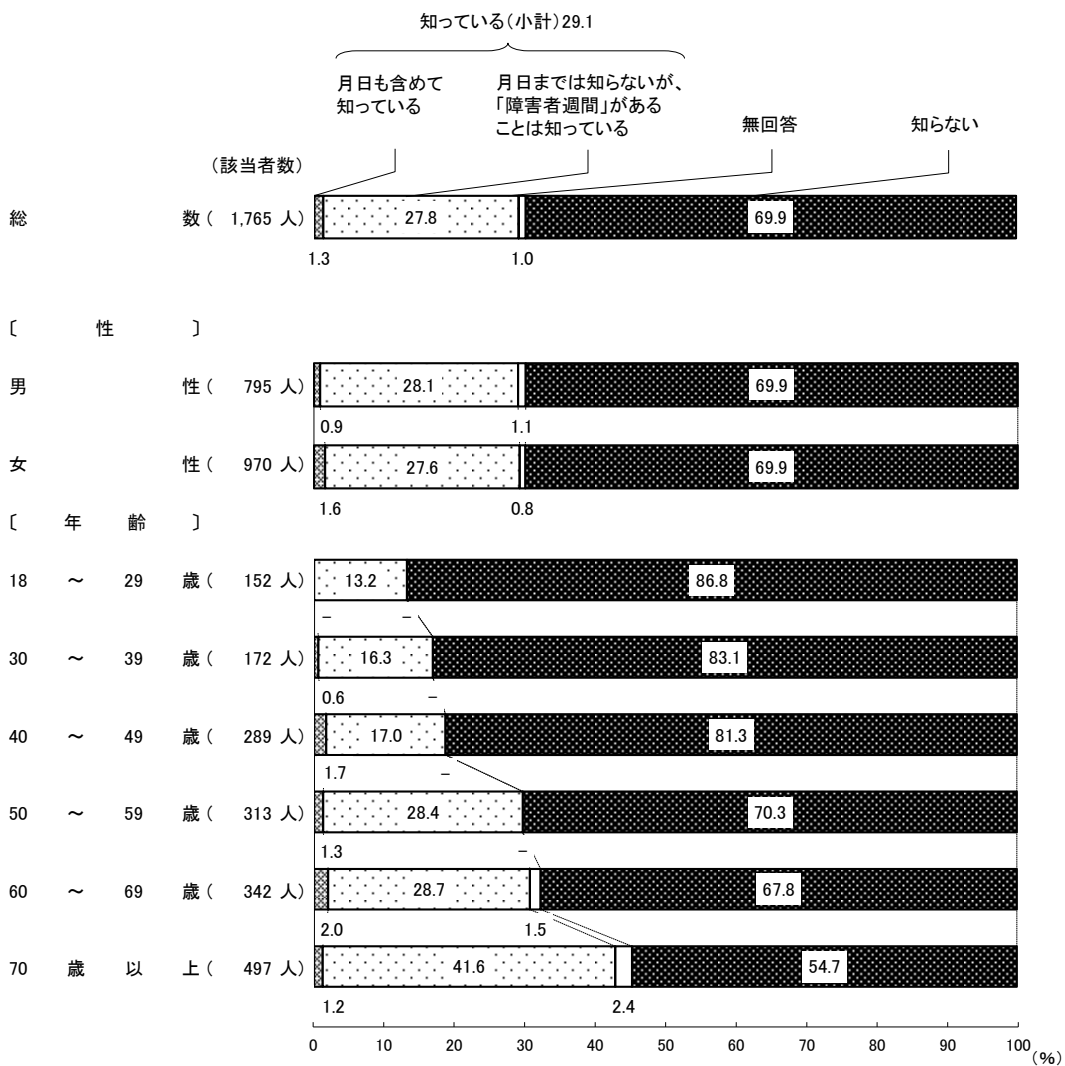


表3 「障害者週間」の周知度

	該 当 者 数	知 つ て (小計) る	知 ら な い		無 回 答	
			月日 も 含 め て 知 つ て い る	一 月 日 ま で は 知 ら な い が、 こ と は 知 つ て い る		
	人	%	%	%	%	
総 〔都 市 規 模〕	1,765	29.1	1.3	27.8	69.9	1.0
大 都 市	510	27.3	1.6	25.7	71.8	1.0
東 京 都 区 部 市	128	26.6	0.8	25.8	72.7	0.8
政 令 指 定 都 市	382	27.5	1.8	25.7	71.5	1.0
中 都 市	726	27.3	1.1	26.2	71.8	1.0
小 都 市	385	34.0	1.3	32.7	65.5	0.5
町 村	144	31.9	1.4	30.6	66.0	2.1
〔性〕						
男 性	795	28.9	0.9	28.1	69.9	1.1
女 性	970	29.3	1.6	27.6	69.9	0.8
〔年 齢〕						
18 ～ 29 歳	152	13.2	-	13.2	86.8	-
30 ～ 39 歳	172	16.9	0.6	16.3	83.1	-
40 ～ 49 歳	289	18.7	1.7	17.0	81.3	-
50 ～ 59 歳	313	29.7	1.3	28.4	70.3	-
60 ～ 69 歳	342	30.7	2.0	28.7	67.8	1.5
70 歳 以 上	497	42.9	1.2	41.6	54.7	2.4

表3-参考 「障害者週間」の周知度

	該 当 者 数	知 つ て (小計) る	知 ら な い		知 ら な い
			月日 も 含 め て 知 つ て い る	一 月 日 ま で は 知 ら な い が、 こ と は 知 つ て い る	
	人	%	%	%	%
平 成 19 年 2 月 調 査	1,815	27.5	4.5	23.0	72.5
平 成 24 年 7 月 調 査	1,913	28.6	3.1	25.5	71.4
平 成 29 年 8 月 調 査 (うち20歳以上)	1,740	24.1	3.8	20.3	75.9
平 成 29 年 8 月 調 査	1,771	23.9	3.7	20.2	76.1

(注1) 平成24年7月調査までは、「国は、障害や障害のある人に関する理解と関心を深め、障害のある人の社会参加への意欲を高めるために、毎年12月3日から12月9日までの1週間で「障害者週間」と決めて、さまざまな取り組みを行っています。あなたは、「障害者週間」を知っていますか。この中から1つだけお答えください。」と聞いている。

(注2) 平成29年8月調査までは、調査員による個別面接聴取法で実施しているため、令和4年11月調査との単純比較は行わない。

(ア)「障害者週間」を何で知ったか

(問3で「月日も含めて知っている」、「月日までは知らないが、「障害者週間」があることは知っている」と答えた者に)  
 問4. 「障害者週間」を何によって知りましたか。(○はいくつでも)

(上位3項目)  
 令和4年11月

- ・テレビ、ラジオ 62.8%
- ・新聞 44.7%
- ・国や地方公共団体の広報誌、ポスター、パンフレット 27.6%

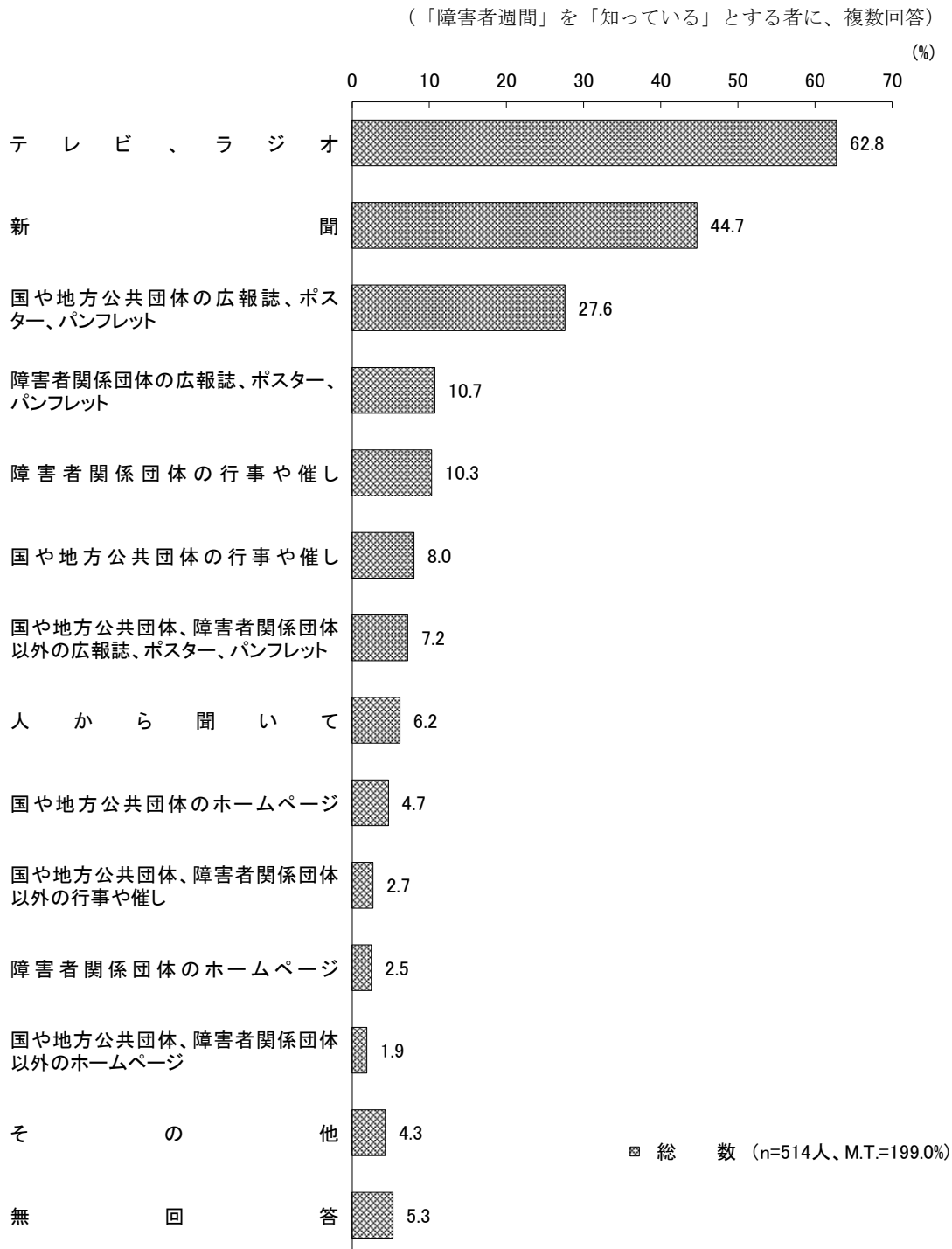




表4 「障害者週間」を何で知ったか

（「障害者週間」を「知っている」とする者に、複数回答）

総数	該当者数	テレビ、ラジオ	新聞	タレ、地方公共団体の広報誌、ポスター、パンフレットの広報誌、ポスター、パンフレットの行事や催し	障害者関係団体の行事や催し	国や地方公共団体の行事や催し	レ、地方公共団体、障害者関係団体の行事や催し、ポスター、パンフレット	人から聞いて	国や地方公共団体のホームページ	国や地方公共団体、障害者関係団体のホームページ	障害者関係団体のホームページ	国や地方公共団体、障害者関係団体のホームページ	その他	無回答	計(M.T.)	
																数
総数	514	62.8	44.7	27.6	10.7	10.3	8.0	7.2	6.2	4.7	2.7	2.5	1.9	4.3	5.3	199.0
大東	139	54.7	41.7	36.0	10.1	5.8	5.8	5.8	7.9	4.3	2.9	2.9	2.2	4.3	5.8	189.9
政令	34	55.9	41.2	38.2	17.6	8.8	5.9	8.8	20.6	8.8	-	8.8	2.9	8.8	-	226.5
中	105	54.3	41.9	35.2	7.6	4.8	5.7	4.8	3.8	2.9	3.8	1.0	1.9	2.9	7.6	178.1
小	198	63.6	41.9	22.2	10.6	12.6	7.1	5.1	7.6	5.6	2.5	3.0	2.0	6.6	4.5	194.9
町	131	68.7	48.9	26.7	9.9	9.9	13.0	10.7	3.8	3.1	3.8	0.8	1.5	1.5	6.1	208.4
性	46	67.4	54.3	28.3	15.2	15.2	4.3	10.9	2.2	6.5	-	4.3	2.2	2.2	4.3	217.4
男	230	62.6	47.0	27.8	10.0	7.8	7.8	6.1	6.5	7.0	3.9	2.6	3.0	3.9	5.2	201.3
女	284	63.0	43.0	27.5	11.3	12.3	8.1	8.1	6.0	2.8	1.8	2.5	1.1	4.6	5.3	197.2
年齢	20	30.0	10.0	20.0	10.0	-	-	10.0	20.0	-	5.0	-	-	20.0	5.0	130.0
29歳	29	58.6	20.7	37.9	17.2	13.8	6.9	10.3	3.4	6.9	3.4	3.4	3.4	3.4	6.9	196.6
39歳	54	50.0	31.5	18.5	7.4	5.6	3.7	9.3	3.7	7.4	-	1.9	3.7	3.7	7.4	153.7
49歳	93	61.3	35.5	25.8	8.6	8.6	7.5	7.5	6.5	3.2	2.2	3.2	3.2	6.5	2.2	181.7
59歳	105	66.7	42.9	30.5	14.3	8.6	7.6	4.8	1.9	3.8	2.9	1.0	1.9	2.9	6.7	196.2
69歳	213	68.5	59.6	28.6	9.9	13.6	10.3	7.0	8.0	5.2	3.3	3.3	0.9	2.8	5.2	226.3

表 4-1 参考 「障害者週間」を何で知ったか

(「障害者週間」を「知っている」とする者に、複数回答)

平成 24 年 7 月 調査 平成 29 年 8 月 調査 (うち 20 歳以上)	該 当 者 数	テレビ、ラジオ、オ、(注1)新聞		テレビ、ラジオ、オ、新聞		タ、バ、ン、フ、レ、ッ、ト、の、広、報、誌、ポ、ス、ト	国、や、地、方、公、共、団、体、の、行、事、や、催、し	障、害、者、関、係、団、体、の、広、報、誌、ポ、ス、ト	国、や、地、方、公、共、団、体、の、行、事、や、催、し	国、や、地、方、公、共、団、体、の、ホ、ー、ム、ペ、ー、ジ	障、害、者、関、係、団、体、の、ホ、ー、ム、ペ、ー、ジ	以、外、の、地、方、公、共、団、体、障、害、者、関、係、団、体、の、ホ、ー、ム、ペ、ー、ジ	そ、の、他	わ、か、ら、な、い	計 (M.T.)
		%	%	%	%										
平成 24 年 7 月 調査	547	70.6	※	26.3	10.8	11.3	8.4	13.5	8.4	4.6	3.3	3.5	2.9	0.7	155.9
平成 29 年 8 月 調査 (うち 20 歳以上)	419	68.3	52.3	16.7	10.3	10.0	7.2	8.8	6.7	6.7	5.0	3.3	6.7	2.4	169.7
平成 29 年 8 月 調査	423	67.8	52.0	16.5	10.6	9.9	7.1	8.7	7.1	6.6	5.0	3.3	6.9	2.4	169.3

(注1) 平成24年7月調査では、「テレビ、ラジオ、新聞などの報道」となっている。

(注2) 平成29年8月調査までは、調査員による個別面接聴取法で実施しているため、令和4年11月調査との単純比較は行わない。

## 2 障害者との交流について

### (1) 手助けの経験

問5. あなたは、障害のある人が困っているときに、手助けをしたことがありますか。  
(○は1つ)

令和4年11月

・したことがある

61.9%

・したことがない

36.7%

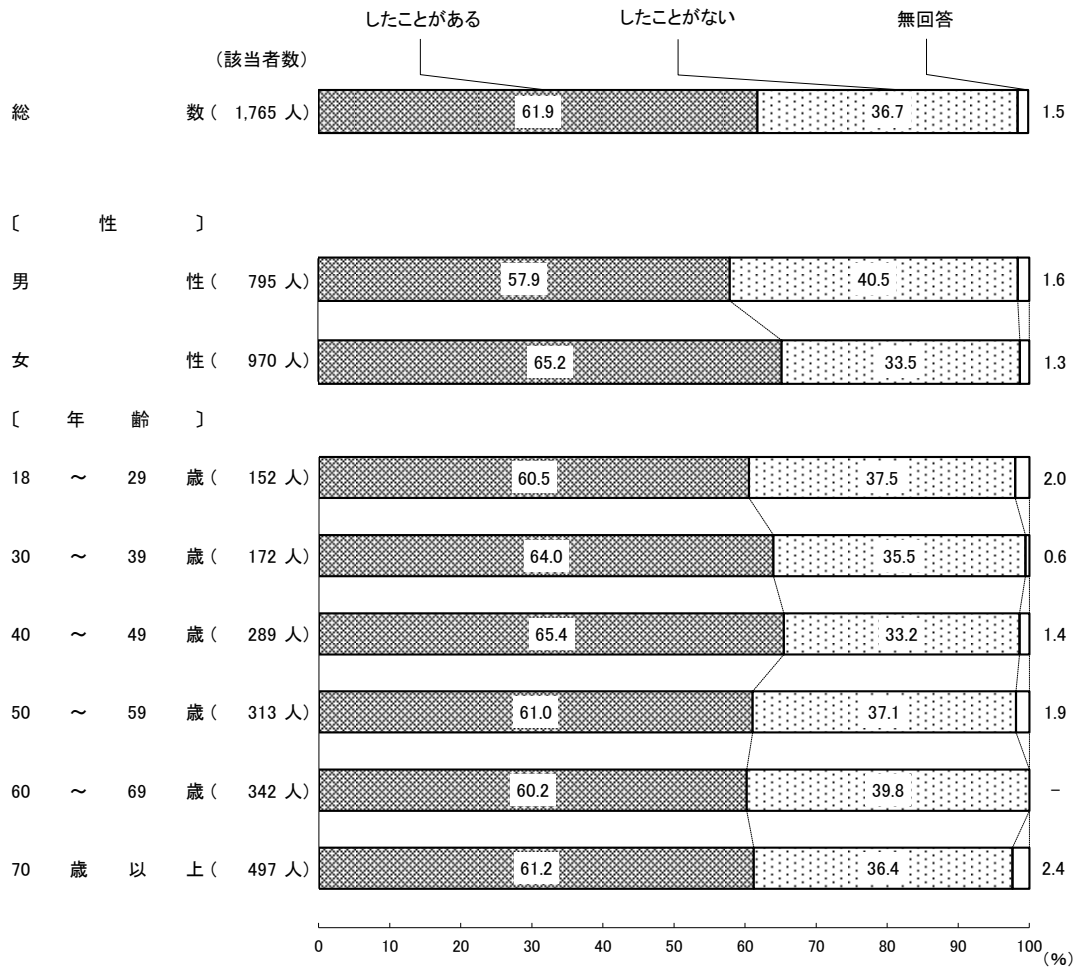


表5 手助けの経験

	該 当 者 数	し た こ と が あ る	し た こ と が な い	無 回 答
	人	%	%	%
総 〔都市規模〕 数	1,765	61.9	36.7	1.5
大 都 市	510	64.7	33.9	1.4
東 京 都 区 部	128	66.4	32.8	0.8
政 令 指 定 都 市	382	64.1	34.3	1.6
中 都 市	726	61.2	37.7	1.1
小 都 市	385	61.8	35.8	2.3
町 村	144	55.6	43.1	1.4
〔性〕				
男 性	795	57.9	40.5	1.6
女 性	970	65.2	33.5	1.3
〔年齢〕				
18 ～ 29 歳	152	60.5	37.5	2.0
30 ～ 39 歳	172	64.0	35.5	0.6
40 ～ 49 歳	289	65.4	33.2	1.4
50 ～ 59 歳	313	61.0	37.1	1.9
60 ～ 69 歳	342	60.2	39.8	-
70 歳 以 上	497	61.2	36.4	2.4

表5-参考 手助けの経験

	該 当 者 数	あ る	な い
	人	%	%
平成29年8月調査	1,771	61.8	38.2

(注) 平成29年8月調査では、調査員による個別面接聴取法で実施しているため、令和4年11月調査との単純比較は行わない。

(ア) 手助けをした理由

(問5で「したことがある」と答えた者に)  
 問6. 手助けをしたのは、どのような理由からでしょうか。(〇はいくつでも)

(上位4項目)  
 令和4年11月

- ・ 困っているときはお互い様という気持ちから 65.8%
- ・ 障害のある人を手助けするのは当たり前のことだと思うから 54.4%
- ・ 身内などに障害のある人がいて、その大変さを知っているから 27.6%
- ・ 何となく手助けをしたいと思ったから 25.2%

(障害のある人に手助けを「したことがある」と答えた者に、複数回答)

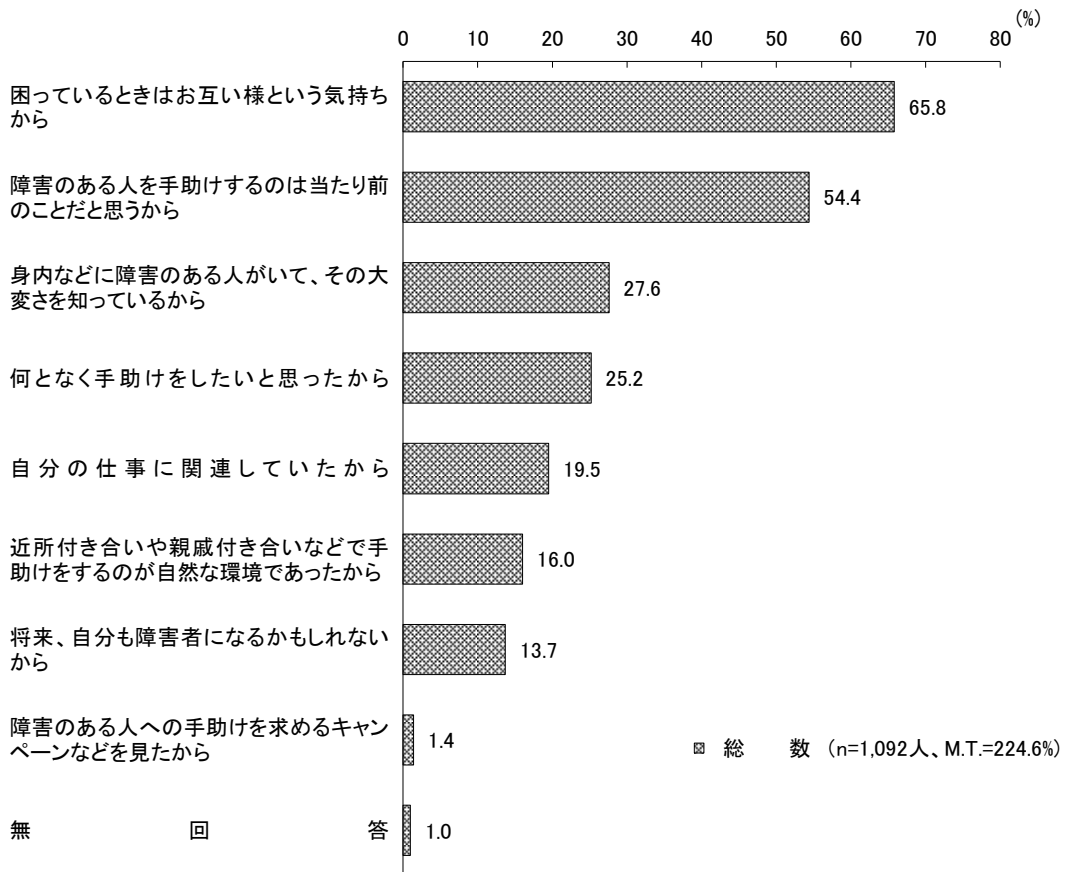


表6 手助けをした理由

(障害のある人に手助けを「したことがある」と答えた者に、複数回答)

	該 当 者 数	困 つ て い る と き は お 互 い 様 な 気 持 ち か ら	障 害 の あ る 人 を 手 助 け す る こ と だ と 思 う か ら	身 内 な ど に 障 害 の あ る 人 が い る か ら	何 と な く 手 助 け を し た い と 思 っ た か ら	自 分 の 仕 事 に 関 連 し て い た か ら	自 然 な 環 境 で あ つ た か ら	近 所 付 き 合 い や 親 戚 付 き 合 い な ど で 手 助 け を す る の が あ る か ら	か も し れ な い か ら	未 だ 求 め ら れ な い か ら	障 害 の あ る 人 へ の 手 助 け を 求 め る キ ャ ン ペ ー ン な ど を 見 た か ら	無 回 答	計 (M.T.)
	人	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
総 〔都市規模〕	1,092	65.8	54.4	27.6	25.2	19.5	16.0	13.7	1.4	1.0			224.6
大 都 市	330	61.8	51.5	23.0	31.8	20.0	12.1	15.5	1.8	0.9			218.5
東 京 都 区 部	85	57.6	64.7	20.0	31.8	17.6	12.9	20.0	1.2	2.4			228.2
政 令 指 定 都 市	245	63.3	46.9	24.1	31.8	20.8	11.8	13.9	2.0	0.4			215.1
中 都 市	444	67.8	57.4	30.6	22.7	19.6	16.9	13.5	1.1	1.1			230.9
小 都 市	238	67.6	52.1	26.9	23.5	17.6	18.1	12.2	1.3	0.8			220.2
町 村	80	66.3	56.3	31.3	16.3	22.5	21.3	12.5	1.3	1.3			228.8
〔性〕													
男 性	460	64.3	49.6	25.2	23.5	15.4	13.7	13.7	2.0	1.1			208.5
女 性	632	66.9	57.9	29.3	26.4	22.5	17.7	13.8	0.9	0.9			236.4
〔年齢〕													
18 ～ 29 歳	92	59.8	45.7	28.3	31.5	23.9	21.7	14.1	-	1.1			226.1
30 ～ 39 歳	110	55.5	37.3	25.5	29.1	23.6	15.5	9.1	0.9	0.9			197.3
40 ～ 49 歳	189	58.2	42.9	23.8	32.3	23.3	11.6	11.1	0.5	-			203.7
50 ～ 59 歳	191	70.7	55.5	24.1	32.5	19.4	11.5	9.4	1.0	-			224.1
60 ～ 69 歳	206	68.0	61.2	32.0	18.0	21.8	14.1	16.0	1.5	1.5			234.0
70 歳 以 上	304	71.7	65.1	29.6	17.8	12.8	21.4	18.1	2.6	2.0			241.1

表6-参考 手助けをした理由

(障害のある人に手助けをしたことが「ある」と答えた者に、複数回答)

	該 当 者 数	困 つ て い る と き は お 互 い 様 な 気 持 ち か ら	障 害 の あ る 人 を 手 助 け す る こ と だ と 思 う か ら	身 内 な ど に 障 害 の あ る 人 が い る か ら	自 分 の 仕 事 に 関 連 し て	か も し れ な い か ら	自 分 の 仕 事 に 関 連 し て	近 所 付 き 合 い や 親 戚 付 き 合 い な ど で	何 と な く	未 だ 求 め ら れ な い か ら	障 害 の あ る 人 へ の 手 助 け を 求 め る キ ャ ン ペ ー ン な ど を 見 た か ら	そ の 他	わ か ら な い	計 (M.T.)
	人	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
平成29年8月調査	1,094	61.7	51.9	30.1	19.2	15.8	9.7	8.7	2.1	1.5	0.1			200.7

(注1) 平成29年8月調査では、「それはどのような気持ちからでしょうか。この中からいくつでもあげてください。」と聞いている。

(注2) 平成29年8月調査までは、調査員による個別面接聴取法で実施しているため、令和4年11月調査との単純比較は行わない。

(イ) 手助けをしたことがない理由

(問5で「したことがない」と答えた者に)

問7. 手助けをしたことがないのは、どのような理由からでしょうか。(〇はいくつでも)

(上位2項目)

令和4年11月

- ・ 困っている障害者を見かける機会がなかったから 79.4%
- ・ どのように接したらよいかわからなかったから 16.5%

(障害のある人に手助けを「したことがない」と答えた者に、複数回答)

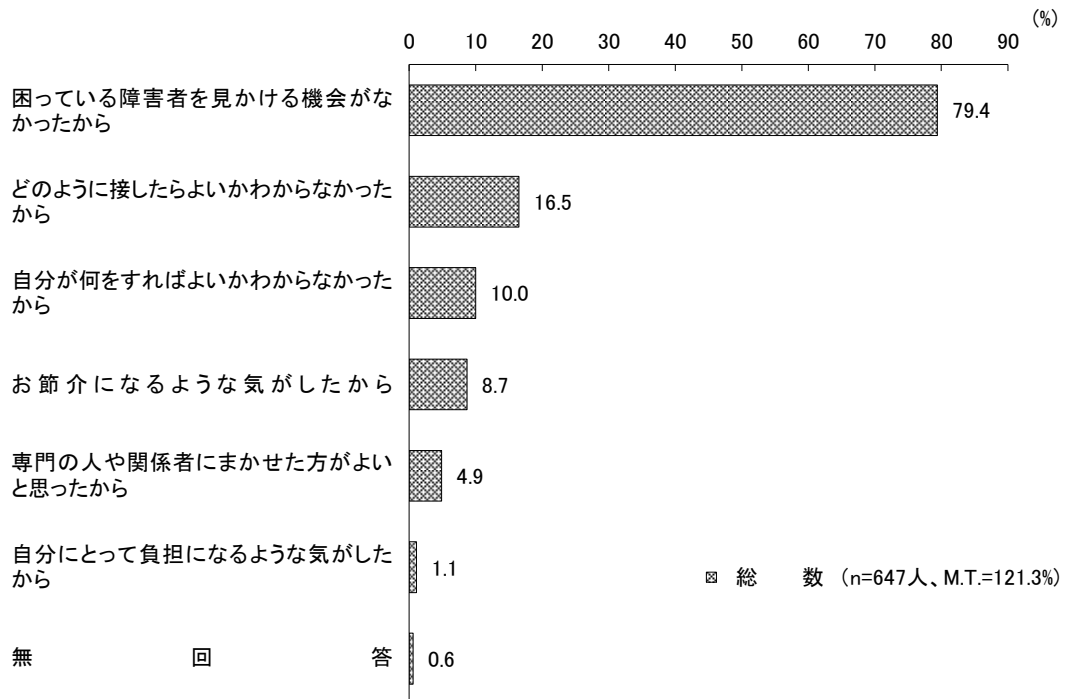


表7 手助けをしたことがない理由

(障害のある人に手助けを「したことがない」と答えた者に、複数回答)

	該 当 者 数	困 つ て い る 障 害 者 を 見 か け る 機 会 が な か つ た か ら	わ ど の よ う に 接 し た ら よ い か ら	自 分 が 何 を す れ ば よ い か わ ら な か つ た か ら	お 節 介 に な る よ う な 気 が し た か ら	専 門 の 人 や 関 係 者 に ま か せ た か ら	自 分 に と つ て 負 担 に な る よ う な 気 が し た か ら	無 回 答	計 (M.T.)
	人	%	%	%	%	%	%	%	%
総 〔都市規模〕	647	79.4	16.5	10.0	8.7	4.9	1.1	0.6	121.3
大 都 市	173	77.5	20.8	12.1	11.0	4.6	1.2	-	127.2
東 京 都 区 部	42	76.2	28.6	16.7	23.8	7.1	4.8	-	157.1
政 令 指 定 都 市	131	77.9	18.3	10.7	6.9	3.8	-	-	117.6
中 都 市	274	80.7	15.0	9.1	8.8	4.0	1.5	1.1	120.1
小 都 市	138	79.0	14.5	10.9	2.9	5.1	0.7	0.7	113.8
町 村	62	80.6	16.1	6.5	14.5	9.7	-	-	127.4
〔性〕									
男 性	322	73.0	20.5	11.8	10.6	6.5	0.9	0.6	123.9
女 性	325	85.8	12.6	8.3	6.8	3.4	1.2	0.6	118.8
〔年齢〕									
18 ～ 29 歳	57	87.7	12.3	12.3	7.0	1.8	1.8	-	122.8
30 ～ 39 歳	61	72.1	19.7	11.5	19.7	6.6	4.9	1.6	136.1
40 ～ 49 歳	96	76.0	14.6	12.5	10.4	7.3	-	1.0	121.9
50 ～ 59 歳	116	79.3	20.7	10.3	7.8	3.4	0.9	-	122.4
60 ～ 69 歳	136	83.1	14.0	8.1	6.6	4.4	0.7	-	116.9
70 歳 以 上	181	78.5	17.1	8.8	6.6	5.5	0.6	1.1	118.2

表7-参考 手助けをしたことがない理由

(障害のある人に手助けをしたことが「ない」と答えた者に、複数回答)

	該 当 者 数	困 つ て い る 障 害 者 を 見 か け る 機 会 が な か つ た か ら	わ ど の よ う に 接 し た ら よ い か ら	自 分 が 何 を す れ ば よ い か わ ら な か つ た か ら	お 節 介 に な る よ う な 気 が し た か ら	専 門 の 人 や 関 係 者 に ま か せ た か ら	自 分 に と つ て 負 担 に な る よ う な 気 が し た か ら	そ の 他	特 に 理 由 は な い	わ か ら な い	計 (M.T.)
	人	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
平成29年8月調査	677	79.5	12.0	8.9	5.6	3.5	2.7	1.5	3.4	0.3	117.3

(注1) 平成29年8月調査では、「なかったのはどうしてでしょうか。この中からいくつでもあげてください。」と聞いている。  
 (注2) 平成29年8月調査では、調査員による個別面接取法で実施しているため、令和4年11月調査との単純比較は行わない。



( 2 ) 差別や偏見の有無

問 8 . あなたは、世の中には障害のある人に対して、障害を理由とする差別や偏見があると思いますか。(○は1つ)

令和 4 年 11 月

<u>あると思う (小計)</u>	<u>88.5%</u>
・あると思う	47.5%
・ある程度はあると思う	41.0%
<u>ないと思う (小計)</u>	<u>9.8%</u>
・あまりないと思う	7.5%
・ないと思う	2.3%

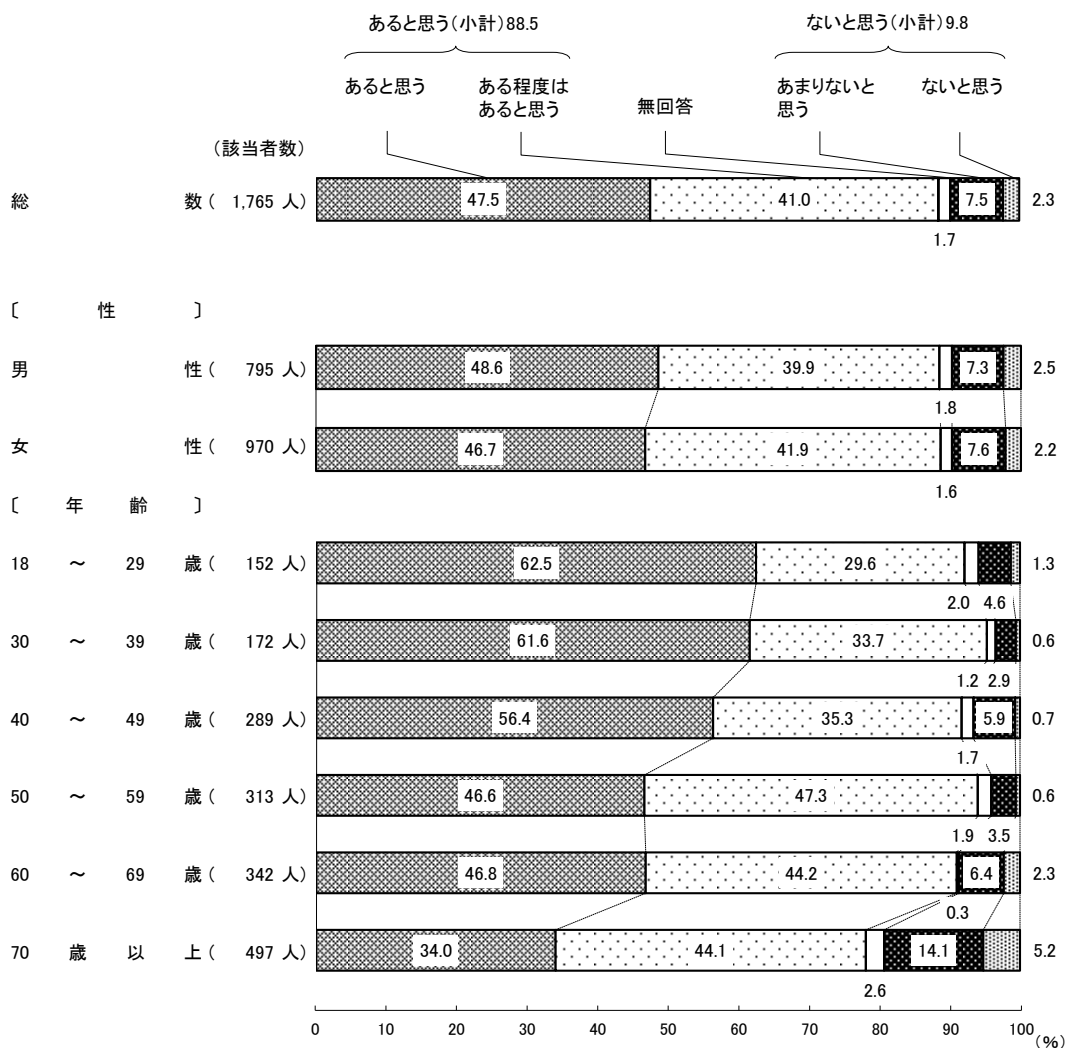


表8 差別や偏見の有無

	該 当 者 数	あ る と (小 計) う	あ	あ	な い と (小 計) う	あ	な	無 回 答
			る	る		い	い	
	人	%	%	%	%	%	%	%
総 〔都市規模〕	1,765	88.5	47.5	41.0	9.8	7.5	2.3	1.7
大 都 市	510	91.0	49.6	41.4	7.6	6.3	1.4	1.4
東 京 都 区 部	128	90.6	49.2	41.4	8.6	7.0	1.6	0.8
政 令 指 定 都 市	382	91.1	49.7	41.4	7.3	6.0	1.3	1.6
中 都 市	726	88.8	47.9	40.9	9.5	6.9	2.6	1.7
小 都 市	385	85.2	44.9	40.3	12.7	9.9	2.9	2.1
町 村	144	86.8	45.1	41.7	11.1	8.3	2.8	2.1
〔性〕								
男 性	795	88.4	48.6	39.9	9.8	7.3	2.5	1.8
女 性	970	88.6	46.7	41.9	9.8	7.6	2.2	1.6
〔年齢〕								
18 ～ 29 歳	152	92.1	62.5	29.6	5.9	4.6	1.3	2.0
30 ～ 39 歳	172	95.3	61.6	33.7	3.5	2.9	0.6	1.2
40 ～ 49 歳	289	91.7	56.4	35.3	6.6	5.9	0.7	1.7
50 ～ 59 歳	313	93.9	46.6	47.3	4.2	3.5	0.6	1.9
60 ～ 69 歳	342	90.9	46.8	44.2	8.8	6.4	2.3	0.3
70 歳 以 上	497	78.1	34.0	44.1	19.3	14.1	5.2	2.6

表8-参考 差別や偏見の有無

	該 当 者 数	あ る と (小 計) う	あ	あ	な い と (小 計) う	あ	な	わ か ら な い
			る	る		い	い	
	人	%	%	%	%	%	%	%
平成19年2月調査	1,815	82.9	52.0	31.0	15.1	※	15.1	2.0
平成24年7月調査	1,913	89.2	56.1	33.0	9.7	※	9.7	1.1
平成29年8月調査 (うち20歳以上)	1,740	83.8	50.8	33.0	14.3	7.8	6.4	2.0
平成29年8月調査	1,771	83.9	50.8	33.1	14.2	7.7	6.4	1.9

(注1) 平成24年7月調査までは、「少しはあると思う」となっている。

(注2) 平成24年7月調査までは、「ないと思う」のみとなっている。

(注3) 平成29年8月調査までは、調査員による個別面接聴取法で実施しているため、令和4年11月調査との単純比較は行わない。

(ア) 差別や偏見の改善状況

(問8で「あると思う」、「ある程度はあると思う」と答えた者に)  
 問9. 今から5年前と比べて障害のある人に対する差別や偏見は改善されたと思いますか。  
 (○は1つ)

令和4年11月

改善されたと思う (小計)	58.9%
・かなり改善されたと思う	9.5%
・ある程度改善されたと思う	49.4%
改善されていないと思う (小計)	40.4%
・あまり改善されていないと思う	34.2%
・ほとんど改善されていないと思う	6.2%

(障害を理由とする差別や偏見が「あると思う」とする者に)

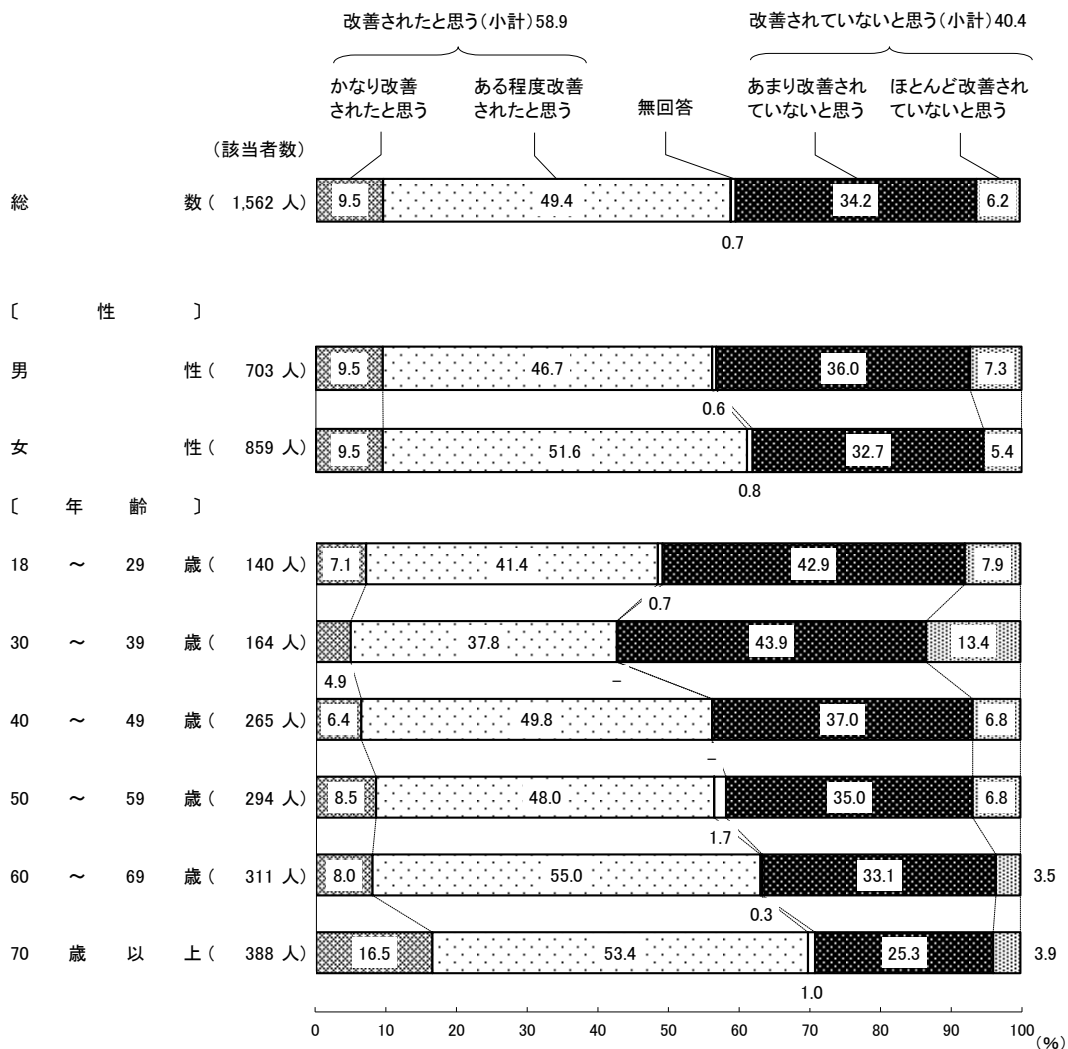


表9 差別や偏見の改善状況

(障害を理由とする差別や偏見が「あると思う」とする者に)

	該 当 者 数	改 善 さ れ た と 思 う (小計)	改 善 さ れ て い な い と 思 う		改 善 さ れ て い な い と 思 う (小計)	あ ま り 改 善 さ れ て い な い と 思 う	ほ と ん ど 改 善 さ れ て い な い と 思 う	無 回 答
			か な り 改 善 さ れ た と 思 う	あ る 程 度 改 善 さ れ た と 思 う				
	人	%	%	%	%	%	%	%
総数	1,562	58.9	9.5	49.4	40.4	34.2	6.2	0.7
〔都市規模〕								
大都市	464	58.8	10.3	48.5	40.9	33.2	7.8	0.2
東京都	116	60.3	12.9	47.4	39.7	30.2	9.5	-
政令指定都市	348	58.3	9.5	48.9	41.4	34.2	7.2	0.3
中都市	645	57.8	8.7	49.1	40.9	34.6	6.4	1.2
小都市	328	61.0	10.7	50.3	38.7	34.1	4.6	0.3
町	125	59.2	8.0	51.2	40.0	36.0	4.0	0.8
〔性別〕								
男性	703	56.2	9.5	46.7	43.2	36.0	7.3	0.6
女性	859	61.1	9.5	51.6	38.1	32.7	5.4	0.8
〔年齢〕								
18～29歳	140	48.6	7.1	41.4	50.7	42.9	7.9	0.7
30～39歳	164	42.7	4.9	37.8	57.3	43.9	13.4	-
40～49歳	265	56.2	6.4	49.8	43.8	37.0	6.8	-
50～59歳	294	56.5	8.5	48.0	41.8	35.0	6.8	1.7
60～69歳	311	63.0	8.0	55.0	36.7	33.1	3.5	0.3
70歳以上	388	69.8	16.5	53.4	29.1	25.3	3.9	1.0

表9-参考 差別や偏見の改善状況

(障害を理由とする差別や偏見が「あると思う」とする者に)

	該 当 者 数	改 善 さ れ て い る (小計)	改 善 さ れ て い な い		改 善 さ れ て い な い (小計)	あ ま り 改 善 さ れ て い な い	ほ と ん ど 改 善 さ れ て い な い (注2)	ど ち ら と も い え な い	わ か ら な い
			か な り 改 善 さ れ て い る	あ る 程 度 改 善 さ れ て い る (注1)					
	人	%	%	%	%	%	%	%	%
平成19年2月調査	1,505	57.2	8.8	48.4	35.3	26.1	9.2	3.3	4.2
平成24年7月調査	1,706	51.5	8.5	43.0	40.8	31.9	8.9	2.2	5.5
平成29年8月調査 (うち20歳以上)	1,458	50.5	7.1	43.4	41.6	31.5	10.2	2.7	5.1
平成29年8月調査	1,486	50.7	7.1	43.5	41.5	31.4	10.1	2.7	5.2

(注1) 平成19年2月調査では、「少しずつ改善されている」となっている。

(注2) 平成19年2月調査では、「改善されていない」となっている。

(注3) 平成29年8月調査までは、「あなたは、5年前と比べて障害のある人に対する差別や偏見は改善されたと思いますか。この中から1つだけお答えください。」と聞いている。

(注4) 平成29年8月調査までは、調査員による個別面接聴取法で実施しているため、令和4年11月調査との単純比較は行わない。

### 3 障害者関連施策について

#### (1) 「障害者権利条約」の周知度

問 10. いわゆる「障害者権利条約」は、国連が障害者の権利や尊厳を保護・促進するため、障害を理由とする差別の禁止や、障害のある人が障害のない人と同じように暮らすためのさまざまな施策を定めたもので、日本は平成26年1月に締結しました。あなたは、「障害者権利条約」を知っていますか。(○は1つ)

令和4年11月

- ・ 条約の内容も含めて知っている 2.2%
- ・ 内容は知らないが、条約があることは知っている 22.5%
- ・ 知らない 73.7%

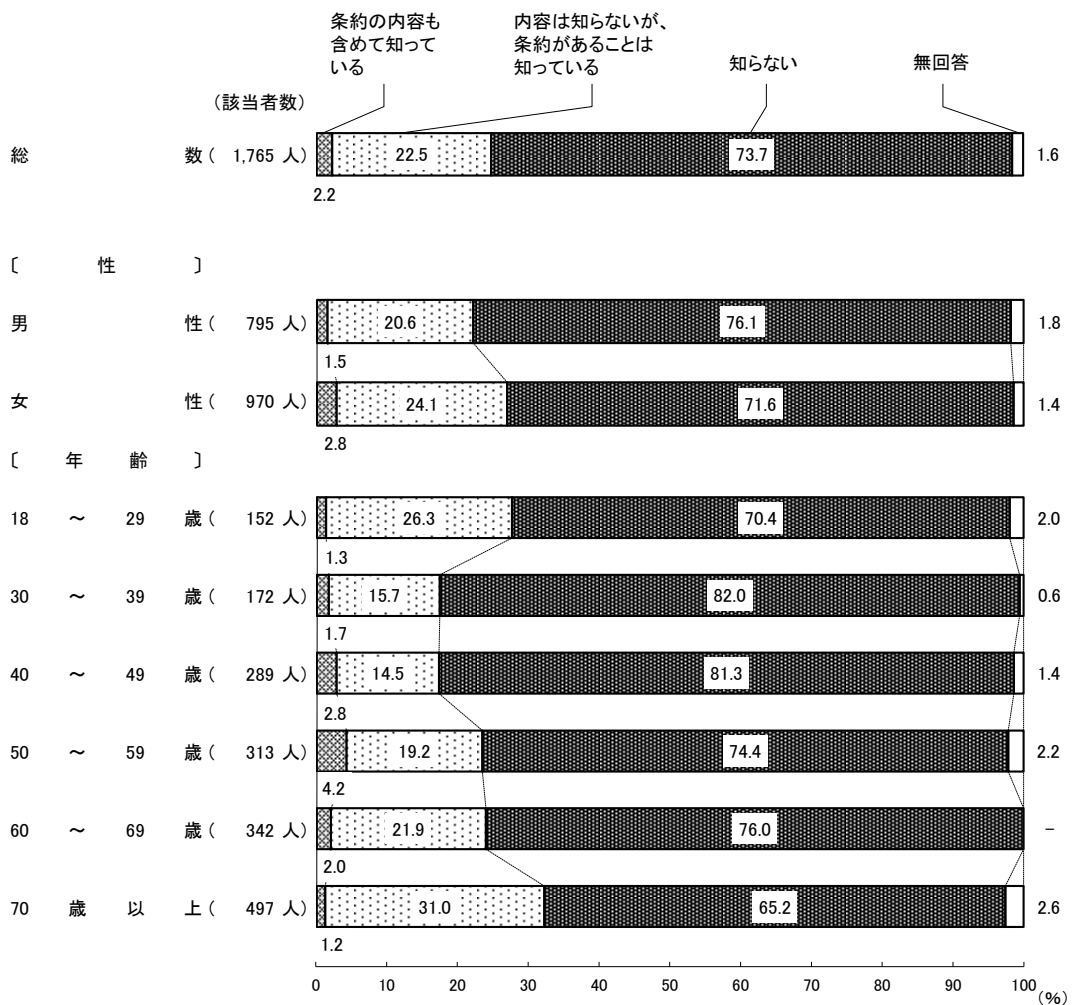


表 10 「障害者権利条約」の周知度

	該 当 者 数	い る 条 約 の 内 容 も 含 め て 知 っ て	あ る こ と は 知 ら な い が、 条 約 が	知 ら な い	無 回 答
	人	%	%	%	%
総 〔都市規模〕 大 東 京 都 区 部 政 令 指 定 都 市 中 都 市 小 都 市 町 村 〔性〕 男 性 女 性 〔年 齢〕 18 ～ 29 歳 30 ～ 39 歳 40 ～ 49 歳 50 ～ 59 歳 60 ～ 69 歳 70 歳 以 上	1,765 510 128 382 726 385 144 795 970 152 172 289 313 342 497	2.2 2.4 2.3 2.4 2.5 2.1 0.7 1.5 2.8 1.3 1.7 2.8 4.2 2.0 1.2	22.5 20.8 25.0 19.4 23.3 23.1 23.6 20.6 24.1 26.3 15.7 14.5 19.2 21.9 31.0	73.7 75.3 71.9 76.4 72.7 73.2 73.6 76.1 71.6 70.4 82.0 81.3 74.4 76.0 65.2	1.6 1.6 0.8 1.8 1.5 1.6 2.1 1.8 1.4 2.0 0.6 1.4 2.2 - 2.6

表 10－参考 障害者権利条約の周知度

	該 当 者 数	知 つ て い る 条 約 の 内 容 も 含 め て	た 約 内 容 は 知 ら な い が、 条 約 が あ る こ と は 知 ら な い が、 （注1） 聞 い た こ と が あ る	知 ら な い	わ か ら な い
	人	%	%	%	%
平 成 19 年 2 月 調 査	1,815	2.5	15.8	78.7	3.0
平 成 24 年 7 月 調 査	1,913	2.2	15.8	81.5	0.4
平 成 29 年 8 月 調 査 （うち20歳以上）	1,740	3.3	17.5	78.4	0.8
平 成 29 年 8 月 調 査	1,771	3.4	17.9	77.9	0.8

(注1) 平成19年2月調査では、「詳しい内容は知らないが、条約ができたことは聞いたことがある」となっている。

(注2) 平成19年2月調査では、「国連は、平成18年12月、障害者の権利や尊厳を保護・促進するため、障害を理由とする差別の禁止や、障害のある人が障害のない人と同じように暮らすためのさまざまな施策を包括的に定める「障害者権利条約」を採択しましたが、あなたはこのことを知っていますか。」と聞いている。

(注3) 平成24年7月調査では、「国連は、平成18年12月、障害者の権利や尊厳を保護・促進するため、障害を理由とする差別の禁止や、障害のある人が障害のない人と同じように暮らすためのさまざまな施策を包括的に定める「障害者権利条約」を採択し、日本はこの条約の締結に向けてさまざまな取組を進めているところですが、あなたはこの条約のことを知っていますか。この中から1つだけお答えください。」と聞いている。

(注4) 平成29年8月調査では、「いわゆる「障害者権利条約」は、国連が障害者の権利や尊厳を保護・促進するため、障害を理由とする差別の禁止や、障害のある人が障害のない人と同じように暮らすためのさまざまな施策を包括的に定めた条約です。この条約を日本は平成26年1月に批准しましたが、あなたは、この条約のことを知っていますか。この中から1つだけお答えください。」と聞いている。

(注5) 平成29年8月調査までは、調査員による個別面接聴取法で実施しているため、令和4年11月調査との単純比較は行わない。

(2) 「障害者差別解消法」の周知度

問 11. 障害のある人もない人も、互いに、その人らしさを認め合いながら共に生きる社会づくりを目指すため、平成 28 年 4 月からいわゆる「障害者差別解消法」が施行され、令和 3 年 6 月には改正法も公布されています。あなたは、「障害者差別解消法」を知っていますか。  
(○は1つ)

令和 4 年 11 月

知っている (小計)	24.0%
・ 法律の内容を、改正法の内容も含めて知っている	2.0%
・ 内容は知っているが、改正されたことは知らない	3.7%
・ 内容は知らないが、法律があることは知っている	18.3%
知らない	74.6%

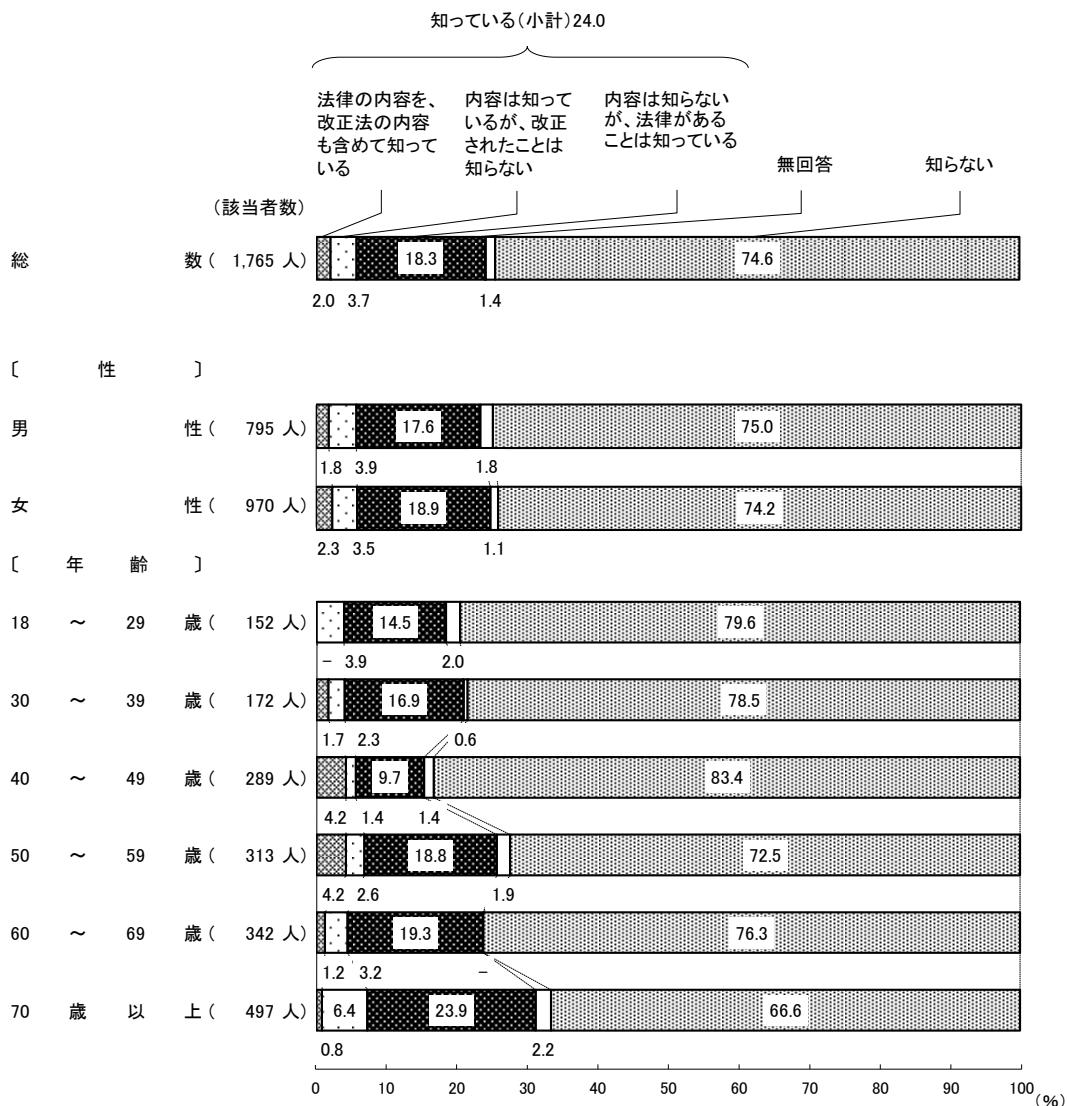


表 11 「障害者差別解消法」の周知度

	該 当 者 数	知 っ て (小計) る	知 ら な い			無 回 答	
			法律の内容を、改正法の 内容も含めて知っている	内容は知っているが、改 正されたことは知らない	内容は知らないが、法律 があることは知っている		
総 〔都市規模〕	1,765	24.0	2.0	3.7	18.3	74.6	1.4
大 都 市	510	22.2	2.5	3.1	16.5	76.5	1.4
東 京 都 区 部	128	28.1	3.1	4.7	20.3	71.1	0.8
政 令 指 定 都 市	382	20.2	2.4	2.6	15.2	78.3	1.6
中 都 市	726	24.4	2.3	4.7	17.4	74.4	1.2
小 都 市	385	25.2	1.0	2.3	21.8	73.2	1.6
町 村	144	25.7	1.4	4.2	20.1	72.2	2.1
〔性〕							
男 性	795	23.3	1.8	3.9	17.6	75.0	1.8
女 性	970	24.6	2.3	3.5	18.9	74.2	1.1
〔年齢〕							
18 ～ 29 歳	152	18.4	-	3.9	14.5	79.6	2.0
30 ～ 39 歳	172	20.9	1.7	2.3	16.9	78.5	0.6
40 ～ 49 歳	289	15.2	4.2	1.4	9.7	83.4	1.4
50 ～ 59 歳	313	25.6	4.2	2.6	18.8	72.5	1.9
60 ～ 69 歳	342	23.7	1.2	3.2	19.3	76.3	-
70 歳 以 上	497	31.2	0.8	6.4	23.9	66.6	2.2

表 11-参考 障害者差別解消法の周知度

	該 当 者 数	知 っ て (小計) る	知 ら な い		わ か ら な い	
			法律の内容も 含めて 知っている	内容は 知らない が、 は		
平成 29 年 8 月 調 査	1,771	21.9	5.1	16.8	77.2	0.9

(注 1) 「障害のある人もない人も、互いに、その人らしさを認め合いながら共に生きる社会づくりを目指すため、平成28年4月  
からいわゆる「障害者差別解消法」が施行されています。あなたは、この法律を知っていますか。この中から1つだけお  
答えください。」と聞いている。

(注 2) 平成29年8月調査では、調査員による個別面接聴取法で実施しているため、令和4年11月調査との単純比較は行わない。



(ア)「障害者差別解消法」を何で知ったか

(問11で「法律の内容を、改正法の内容も含めて知っている」、「内容は知っているが、改正されたことは知らない」、「内容は知らないが、法律があることは知っている」と答えた者に) 問12. 「障害者差別解消法」を何によって知りましたか。(〇はいくつでも)

(上位3項目)  
令和4年11月

- ・テレビ、ラジオ 58.0%
- ・新聞 46.5%
- ・国や地方公共団体の広報誌、ポスター、パンフレット 19.1%

(「障害者差別解消法」を「知っている」とする者に、複数回答)

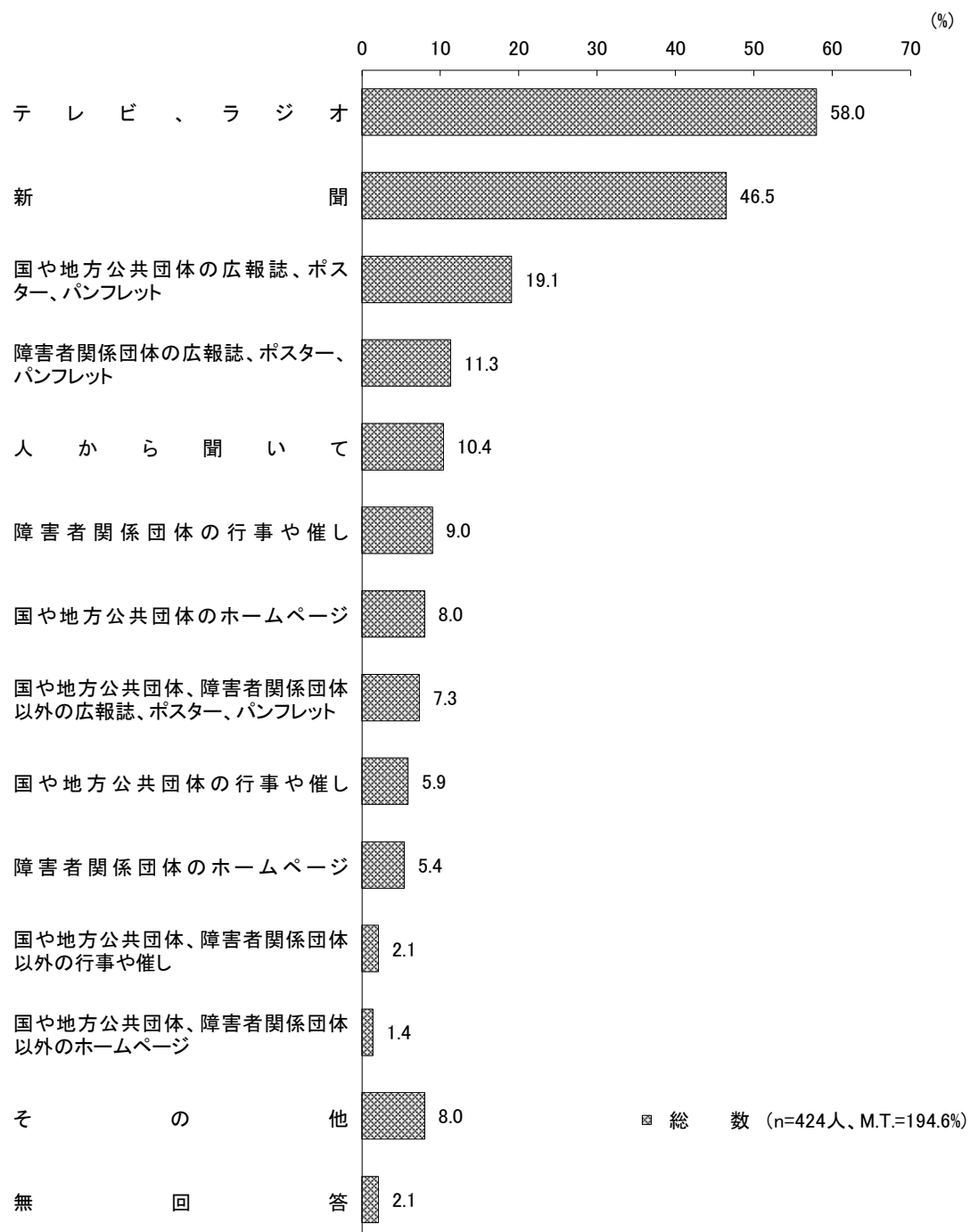


表12 「障害者差別解消法」を何で知ったか

（「障害者差別解消法」を「知っている」とする者に、複数回答）

総数	該当者数	テレビ、ラジオ	新聞	タイ、地方公共団体の広報誌、ポスター、パンフレットの広報誌、ポスター、パンフレット	障害者関係団体の広報誌、ポスター、パンフレット	人から聞いて	障害者関係団体の行事や催し	国や地方公共団体のホームページ	レアウトの広報誌、ポスター、パンフレット	国や地方公共団体の行事や催し	障害者関係団体のホームページ	国や地方公共団体のホームページ	障害者関係団体のホームページ	国や地方公共団体の行事や催し	国や地方公共団体のホームページ	その他	無回答	計(M.T.)
424	424	58.0	46.5	19.1	11.3	10.4	9.0	8.0	7.3	5.9	5.4	2.1	1.4	8.0	2.1	194.6		
113	113	50.4	43.4	18.6	11.5	13.3	6.2	7.1	5.3	4.4	6.2	1.8	0.9	9.7	2.7	181.4		
36	36	44.4	47.2	19.4	8.3	11.1	5.6	19.4	8.3	2.8	8.3	-	2.8	19.4	-	197.2		
77	77	53.2	41.6	18.2	13.0	14.3	6.5	1.3	3.9	5.2	5.2	2.6	-	5.2	3.9	174.0		
177	177	58.8	45.8	18.1	10.2	10.2	11.9	8.5	8.5	8.5	6.2	1.7	1.1	7.9	1.1	198.3		
97	97	63.9	51.5	22.7	13.4	7.2	6.2	8.2	9.3	5.2	1.0	1.0	2.1	9.3	2.1	203.1		
37	37	62.2	45.9	16.2	10.8	10.8	10.8	8.1	2.7	-	10.8	8.1	2.7	-	5.4	194.6		
185	185	56.2	48.1	20.5	11.9	9.2	10.3	11.4	6.5	4.3	4.3	3.2	2.7	7.0	-	195.7		
239	239	59.4	45.2	18.0	10.9	11.3	7.9	5.4	7.9	7.1	6.3	1.3	0.4	8.8	3.8	193.7		
28	28	60.7	17.9	7.1	10.7	25.0	-	-	3.6	3.6	3.6	-	-	21.4	-	153.6		
36	36	66.7	16.7	11.1	11.1	13.9	5.6	8.3	-	-	2.8	-	2.8	16.7	-	155.6		
44	44	43.2	34.1	13.6	11.4	11.4	9.1	9.1	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	20.5	2.3	165.9		
80	80	53.8	42.5	21.3	10.0	8.8	7.5	12.5	5.0	7.5	8.8	1.3	2.5	10.0	1.3	192.5		
60	60	58.0	56.8	18.5	8.6	8.6	7.4	9.9	7.4	3.7	3.7	2.5	1.2	3.7	-	190.1		
70	70	61.9	58.7	23.9	13.5	8.4	12.9	5.8	12.3	9.0	6.5	3.2	0.6	1.3	4.5	222.6		

(3) 合理的な配慮と差別について

問 13. 障害のある人とない人が同じように生活するためには、例えば、受付窓口で耳の不自由な方に筆談で対応したり、商店で高い棚にある商品を店員が代わりに取ってあげたりするなど、さまざまな配慮や工夫が必要になることがあります。あなたは、もし、こうした配慮や工夫が行われなかったとしたら、それが「障害を理由とする差別」に当たる場合があると思いますか。(○は1つ)

令和4年11月

差別に当たる場合があると思う (小計)	64.7%
・差別に当たる場合があると思う	26.8%
・どちらかといえば差別に当たる場合があると思う	37.9%
差別に当たる場合があるとは思わない (小計)	33.1%
・どちらかといえば差別に当たる場合があるとは思わない	17.1%
・差別に当たる場合があるとは思わない	16.0%

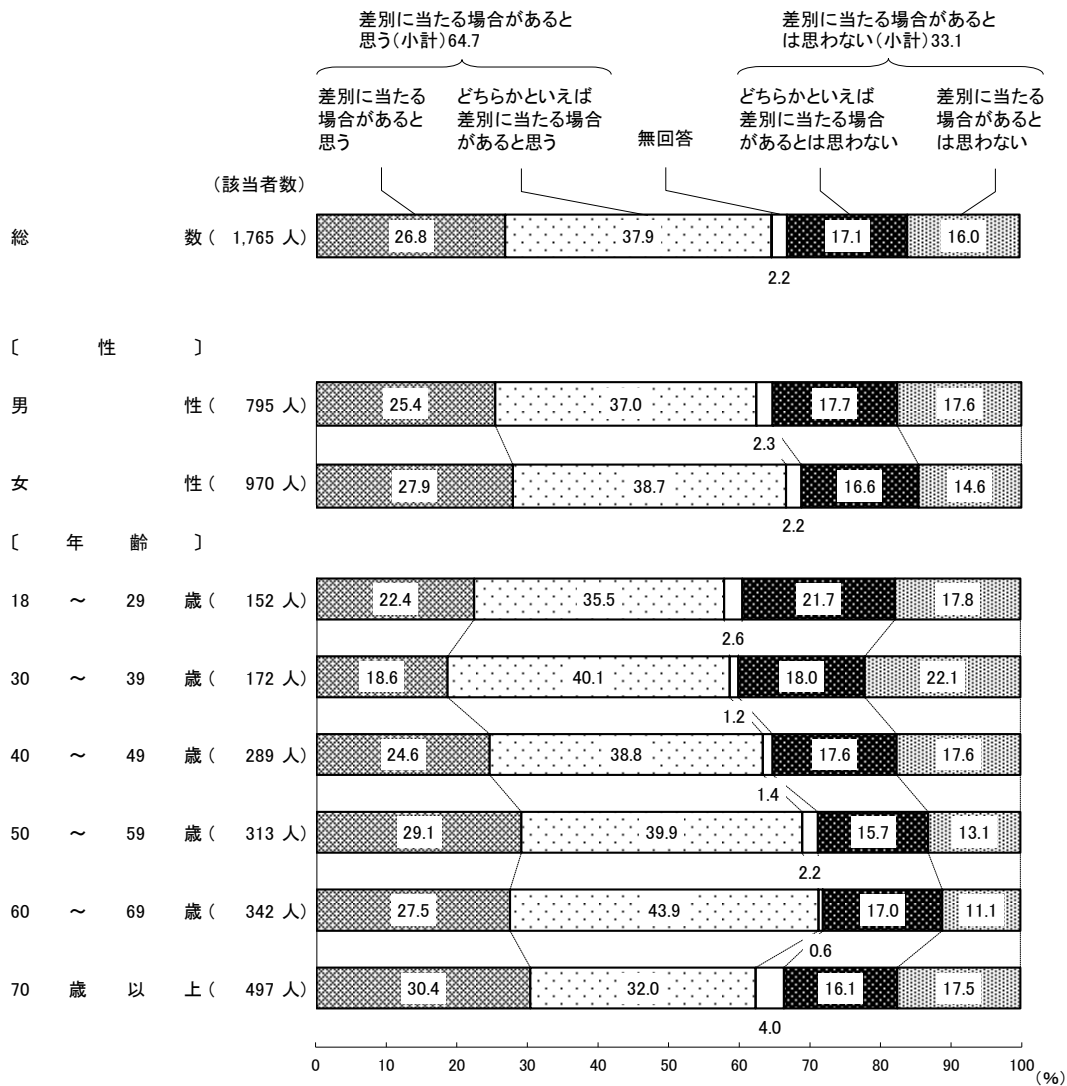


表 13 合理的な配慮と差別について

	該 当 者 数	思 差 別 に 当 た る 場 合 が あ る と  (小計)	思 差 別 に 当 た る 場 合 が あ る と 思 う		ど ち ら か と い え ば 差 別 に 当 た る 場 合 が あ る と 思 う	は 差 別 に 当 た る 場 合 が あ る と 思 わ な い  (小計)	ど ち ら か と い え ば 差 別 に 当 た る 場 合 が あ る と 思 わ な い		無 回 答
			と 思 う	と 思 わ な い			と 思 わ な い	と 思 わ な い	
	人	%	%	%	%	%	%	%	%
総数	1,765	64.7	26.8	37.9	33.1	17.1	16.0	2.2	
[都市規模]									
大都市	510	63.5	25.7	37.8	34.9	17.8	17.1	1.6	
東京都	128	68.0	30.5	37.5	31.3	14.1	17.2	0.8	
政令指定都市	382	62.0	24.1	38.0	36.1	19.1	17.0	1.8	
中都市	726	67.9	28.9	39.0	29.9	14.7	15.2	2.2	
小都市	385	60.5	25.2	35.3	36.6	19.7	16.9	2.9	
町村	144	63.9	24.3	39.6	33.3	19.4	13.9	2.8	
[性別]									
男性	795	62.4	25.4	37.0	35.3	17.7	17.6	2.3	
女性	970	66.6	27.9	38.7	31.2	16.6	14.6	2.2	
[年齢]									
18～29歳	152	57.9	22.4	35.5	39.5	21.7	17.8	2.6	
30～39歳	172	58.7	18.6	40.1	40.1	18.0	22.1	1.2	
40～49歳	289	63.3	24.6	38.8	35.3	17.6	17.6	1.4	
50～59歳	313	69.0	29.1	39.9	28.8	15.7	13.1	2.2	
60～69歳	342	71.3	27.5	43.9	28.1	17.0	11.1	0.6	
70歳以上	497	62.4	30.4	32.0	33.6	16.1	17.5	4.0	

表 13-参考 合理的な配慮と差別について

	該 当 者 数	思 差 別 に 当 た る 場 合 が あ る と  (小計)	思 差 別 に 当 た る 場 合 が あ る と 思 う		ど ち ら か と い え ば 差 別 に 当 た る 場 合 が あ る と 思 う	は 差 別 に 当 た る 場 合 が あ る と 思 わ な い  (小計)	ど ち ら か と い え ば 差 別 に 当 た る 場 合 が あ る と 思 わ な い		一 概 に い え な い	わ か ら な い
			と 思 う	と 思 わ な い			と 思 わ な い	と 思 わ な い		
	人	%	%	%	%	%	%	%	%	
平成19年2月調査	1,815	52.9	25.5	27.4	36.0	15.6	20.4	7.8	3.4	
平成24年7月調査	1,913	46.1	18.6	27.5	45.7	21.6	24.1	5.9	2.3	
平成29年8月調査 (うち20歳以上)	1,740	53.3	25.5	27.8	34.4	16.0	18.3	9.3	3.0	
平成29年8月調査	1,771	53.5	25.6	27.9	34.4	16.1	18.3	9.1	2.9	

(注1) 平成19年2月調査では、「障害のある人となない人が同じように生活するためには、例えば、車椅子が利用できるように商店やレストランの入り口のスロープやトイレを整備したり、目の不自由な人や耳の不自由な人が地域の集会や会社の会議に参加できるように、点字の資料や、手話の通訳を用意したりと、いろいろな配慮や工夫が必要になることがあります。あなたは、こうした配慮や工夫を行わないことが「障害を理由とする差別」にあたる場合があると思いますか。」と聞いている。

(注2) 平成24年7月調査では、「障害のある人となない人が同じように生活するためには、生活するために不便さを取り除く、例えば、商店の入り口などのスロープの整備や点字ブロックや音声案内など、いろいろな配慮や工夫が必要になることがあります。あなたは、こうした配慮や工夫を行わないことが「障害を理由とする差別」にあたる場合があると思いますか。それとも、あるとは思いませんか。この中から1つだけお答えください。」と聞いている。

(注3) 平成29年8月調査までは、調査員による個別面接聴取法で実施しているため、令和4年11月調査との単純比較は行わない。

(4) 「障害者白書」を読んだことがあるか

問 14. 政府は、毎年、国会に、障害者のために講じた施策の概況に関する報告書を提出しています。内閣府では、この報告書を「障害者白書」として公表しています。この「障害者白書」を読んだことはありますか。( は1つ)

令和4年11月

- ・ある 1.0%
- ・障害者白書を知っているが、読んだことはない 6.1%
- ・ない 91.2%

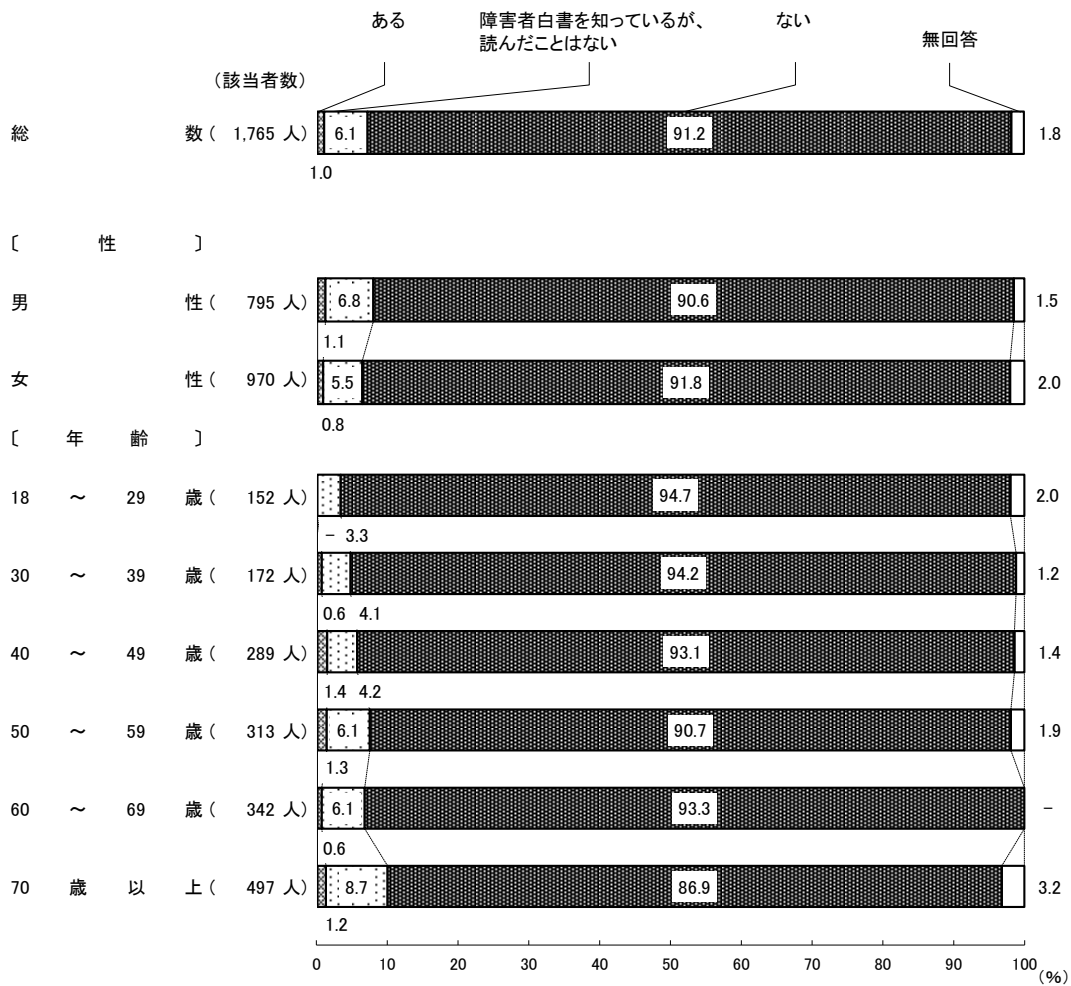


表 14 「障害者白書」を読んだことがあるか

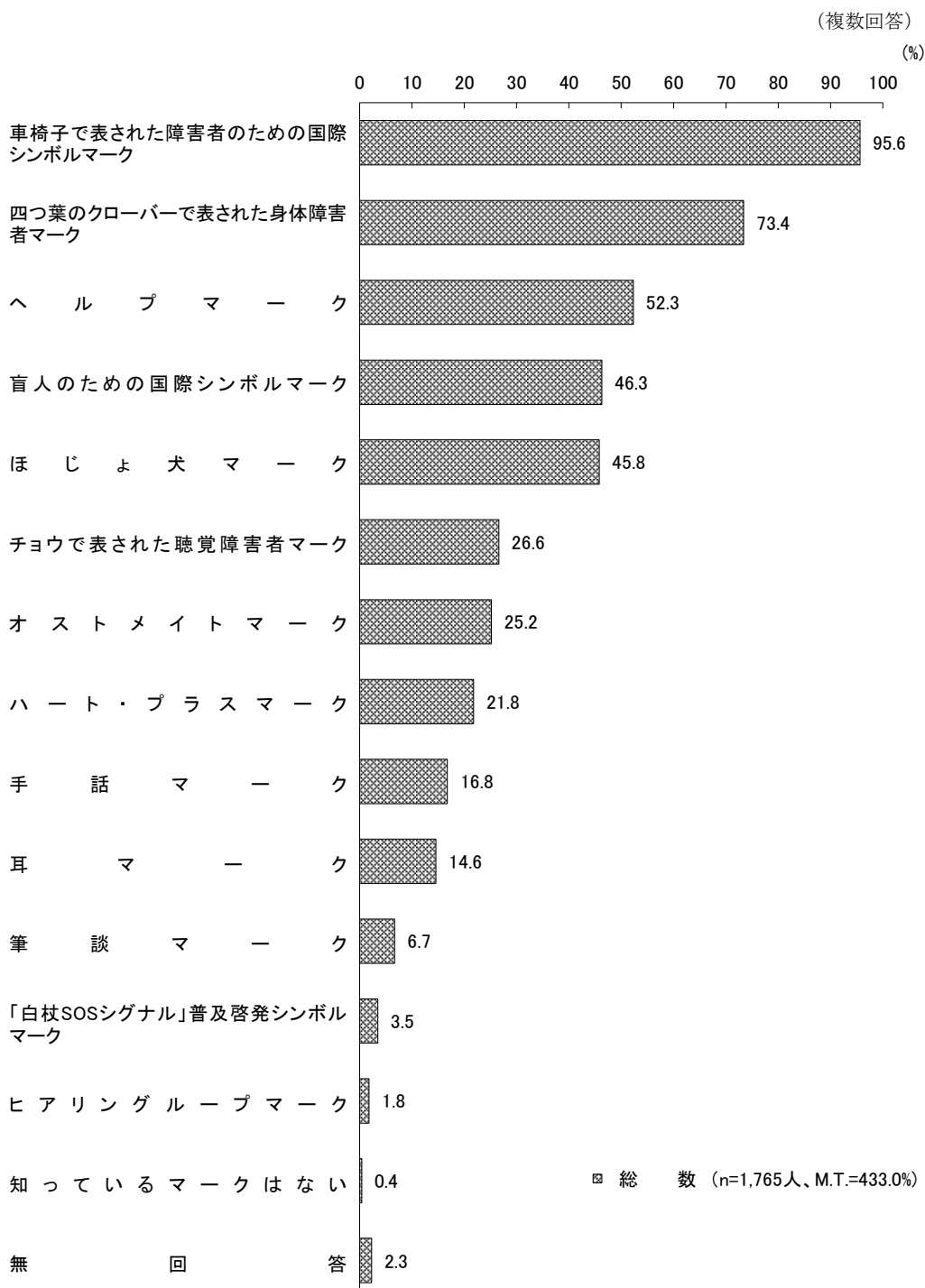
	該 当 者 数	あ る	が、障 害者 白書 を知 つて い る	な い	無 回 答
	人	%	%	%	%
総 〔都市規模〕 大 都 市 東 京 都 区 部 政 令 指 定 都 市 中 都 市 小 都 市 町 村 〔性〕 男 性 女 性 〔年 齢〕 18 ～ 29 歳 30 ～ 39 歳 40 ～ 49 歳 50 ～ 59 歳 60 ～ 69 歳 70 歳 以 上	1,765 510 128 382 726 385 144 795 970 152 172 289 313 342 497	1.0 1.2 1.6 1.0 0.8 1.0 0.7 1.1 0.8 - 0.6 1.4 1.3 0.6 1.2	6.1 4.7 4.7 4.7 5.8 8.1 6.9 6.8 5.5 3.3 4.1 4.2 6.1 6.1 8.7	91.2 92.9 93.0 92.9 91.9 88.6 88.9 90.6 91.8 94.7 94.2 93.1 90.7 93.3 86.9	1.8 1.2 0.8 1.3 1.5 2.3 3.5 1.5 2.0 2.0 1.2 1.4 1.9 - 3.2

( 5 ) 障害者支援マークの周知度

問 15. 障害者団体などでは、障害者を支援するため、さまざまなマークを作成し、周知に努めています。あなたは、この中(別添)で知っているマークはありますか。(〇はいくつでも)

(上位5項目)  
令和4年11月

- ・ 車椅子で表された障害者のための国際シンボルマーク 95.6%
- ・ 四つ葉のクローバーで表された身体障害者マーク 73.4%
- ・ ヘルプマーク 52.3%
- ・ 盲人のための国際シンボルマーク 46.3%
- ・ ほじょ犬マーク 45.8%



(別添) 障害者支援マーク (周知度の高い順)

車椅子で表された障害者のための  
国際シンボルマーク (95.6%)



ヘルプマーク (52.3%)



ほじょ犬マーク (45.8%)



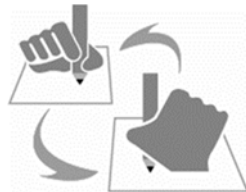
オストメイトマーク (25.2%)



手話マーク (16.8%)



筆談マーク (6.7%)



ヒアリングループマーク (1.8%)



四つ葉のクローバーで表された  
身体障害者マーク (73.4%)



盲人のための  
国際シンボルマーク (46.3%)



チョウで表された聴覚障害者マーク (26.6%)



ハート・プラスマーク (21.8%)



耳マーク (14.6%)



「白杖 SOS シグナル」普及啓発  
シンボルマーク (3.5%)





表15 障害者支援マークの周知度

		該当者数	車椅子のための国際シンボルマークの周知度	四つ葉のマークで表された障害者マーク	ヘルプマーク	盲人のための国際シンボルマーク	ほじょ犬マーク	者マークで表された聴覚障害	オストメイトマーク	ハート・プラスマーク	手話マーク	耳マーク	筆談マーク	「白杖シンボルマーク」普及啓発	ヒアリングループマーク	知っているマークはない	無回答	計(M.T.)
		人	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
総	数	1,765	95.6	73.4	52.3	46.3	45.8	26.6	25.2	21.8	16.8	14.6	6.7	3.5	1.8	0.4	2.3	433.0
大	市	510	95.9	67.5	67.6	42.2	46.3	24.3	32.0	23.1	13.7	17.3	5.7	3.5	1.6	0.4	1.6	442.5
東	都	128	96.1	65.6	83.6	43.0	43.0	25.0	33.6	22.7	10.9	14.8	5.5	3.1	0.8	-	1.6	449.2
政	区	382	95.8	68.1	62.3	41.9	47.4	24.1	31.4	23.3	14.7	18.1	5.8	3.7	1.8	0.5	1.6	440.3
中	都	726	95.7	73.3	52.1	48.5	49.3	27.4	24.7	21.8	16.4	14.5	7.6	3.7	1.9	0.4	2.3	439.5
小	都	385	95.6	80.8	36.9	46.2	39.7	26.8	20.5	19.0	21.6	10.4	6.5	2.9	1.6	0.5	2.6	411.4
町	村	144	93.8	75.7	40.3	50.0	42.4	30.6	16.7	24.3	17.4	16.7	6.3	4.2	2.1	-	3.5	423.6
男	性	795	94.6	73.2	42.1	43.8	36.6	25.8	18.6	19.2	12.7	10.2	5.0	3.5	1.1	0.3	3.1	389.9
女	性	970	96.4	73.6	60.6	48.4	53.3	27.3	30.6	23.8	20.2	18.1	8.0	3.5	2.3	0.5	1.5	468.2
18	歳	152	97.4	79.6	75.7	48.0	69.1	57.9	41.4	31.6	13.2	24.3	8.6	7.2	6.6	-	2.6	563.2
30	歳	172	98.3	82.6	67.4	33.7	62.8	51.7	43.0	22.1	15.7	22.1	9.3	8.7	3.5	-	1.2	522.1
40	歳	289	96.9	79.2	57.8	29.8	57.8	30.1	38.8	22.5	11.8	12.1	3.8	7.7	1.0	0.3	1.0	443.6
50	歳	313	94.2	73.8	60.7	35.1	45.7	24.9	28.1	21.4	13.1	12.5	7.7	3.5	1.6	0.3	2.9	425.6
60	歳	342	95.3	74.9	50.3	44.7	38.6	19.9	17.0	19.0	15.8	14.6	4.1	1.8	1.2	0.9	1.5	399.4
70	歳以上	497	94.4	63.8	32.8	67.8	30.8	12.1	10.1	20.3	24.3	11.7	8.0	3.4	0.6	0.4	3.4	383.9

(複数回答)

表15ー参考 障害者支援マークの周知度

平成29年8月調査	該当者数	知っているマークがある	周知度										わ か ら な い	計 (M.T.)		
			障害者のための国際シンボルマーク(車いすマーク)	身体障害者標識(身体障害者マーク)	盲人のための国際シンボルマーク	障害者雇用支援マーク	ほじょ犬マーク	聴覚障害者標識(聴覚障害者マーク)	ハート・プラスマーク	オストメイトマーク	耳マーク	ヘルプマーク			「及啓発シンボルマーク」普及	知っているものはない
	人	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
平成29年8月調査	1,771	98.8	97.0	64.9	51.9	36.8	32.2	23.9	19.4	14.1	12.0	9.5	4.0	0.8	0.5	367.0

(注) 平成29年8月調査では、調査員による個別面接聴取法で実施しているため、令和4年11月調査との単純比較は行わない。

( 6 ) 障害者施策は進んだか

【資料】

国や地方公共団体では、「共生社会」の考え方に基づいて、障害のある人もない人も共に生活できるための環境づくりを進めており、障害のある人に関する主な施策として以下のような取り組みを行っています。

- ・ 障害のある人への理解を深めるための啓発・広報活動
- ・ ホームヘルプサービスなどの在宅サービスの充実
- ・ 生活の安定のための年金や手当の充実
- ・ 障害のある人に配慮した住宅や建物、交通機関の整備
- ・ 障害のある子どもの相談・支援体制や教育と、障害のある人への生涯学習の充実
- ・ 障害に応じた職業訓練の充実や雇用の確保
- ・ 保健医療サービスやリハビリテーションの充実
- ・ 点字・手話、字幕放送などによる情報提供の充実
- ・ 障害のある人が差別を受けた際の相談窓口や紛争解決機能の充実

( 上記資料を提示して )

問 16. あなたは、今から 5 年前と比べてこれらの障害者施策は進んだと思いますか。  
( ○は1つ )

令和 4 年 11 月

進んだと思う (小計)

- ・ かなり進んだと思う
- ・ ある程度進んだと思う

62.5%

進んでいないと思う (小計)

- ・ あまり進んでいないと思う
- ・ ほとんど進んでいないと思う

11.0%

51.5%

35.5%

31.5%

4.0%

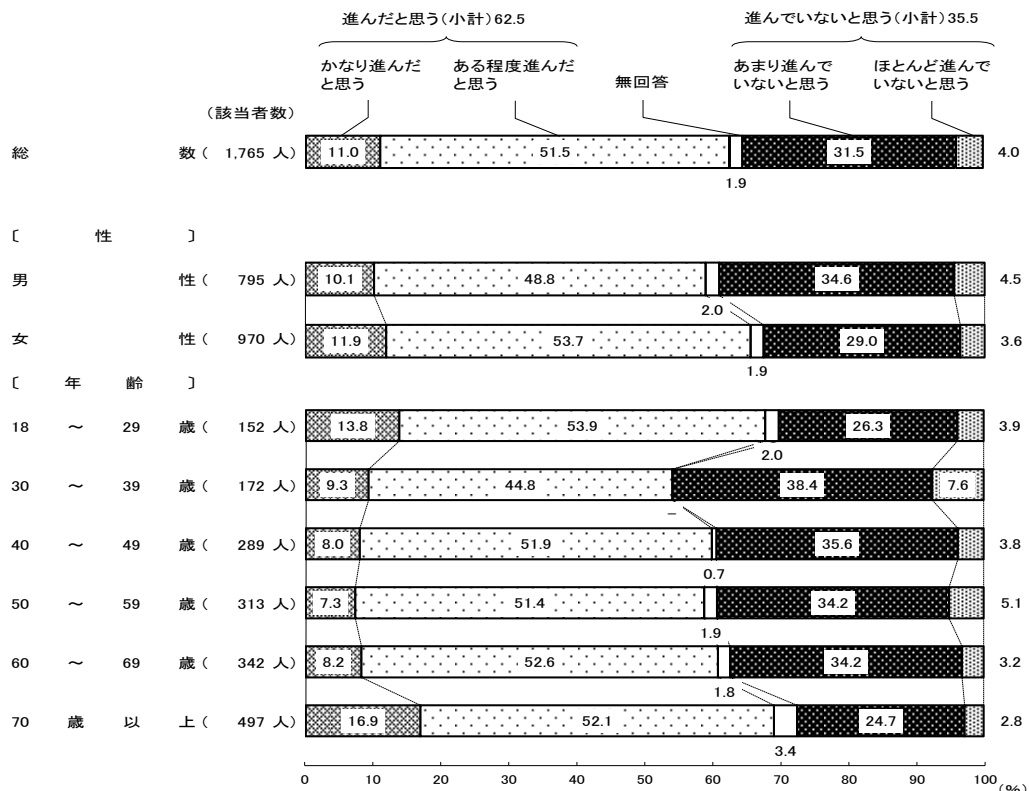


表 16 障害者施策は進んだか

	該 当 者 数	進 ん だ  (と 小 計 )	進 ん だ  (と 小 計 )		進 ん で い な  (い と 小 計 )	進 ん で い な  (い と 小 計 )		無 回 答
			か な り 進 ん だ と 思 う	あ る 程 度 進 ん だ と 思 う		あ ま り 進 ん で い な い と 思 う	ほ と ん ど 進 ん で い な い と 思 う	
	人	%	%	%	%	%	%	%
総数	1,765	62.5	11.0	51.5	35.5	31.5	4.0	1.9
[都市規模]								
大都市	510	61.2	12.4	48.8	37.5	33.1	4.3	1.4
東京都区部	128	61.7	13.3	48.4	35.9	32.8	3.1	2.3
政令指定都市	382	61.0	12.0	49.0	38.0	33.2	4.7	1.0
中都市	726	62.5	10.1	52.5	35.3	30.7	4.5	2.2
小都市	385	64.4	10.6	53.8	33.5	30.6	2.9	2.1
町	144	62.5	12.5	50.0	35.4	31.9	3.5	2.1
[性別]								
男性	795	58.9	10.1	48.8	39.1	34.6	4.5	2.0
女性	970	65.6	11.9	53.7	32.6	29.0	3.6	1.9
[年齢]								
18～29歳	152	67.8	13.8	53.9	30.3	26.3	3.9	2.0
30～39歳	172	54.1	9.3	44.8	45.9	38.4	7.6	-
40～49歳	289	59.9	8.0	51.9	39.4	35.6	3.8	0.7
50～59歳	313	58.8	7.3	51.4	39.3	34.2	5.1	1.9
60～69歳	342	60.8	8.2	52.6	37.4	34.2	3.2	1.8
70歳以上	497	69.0	16.9	52.1	27.6	24.7	2.8	3.4

表 16-参考 障害者施策は進んだか

	該 当 者 数	進 ん だ  (と 小 計 )	進 ん だ  (と 小 計 )		進 ん で い な  (い と 小 計 )	進 ん で い な  (い と 小 計 )		ど ち ら と も い え な い	わ か ら な い
			か な り 進 ん だ と 思 う	あ る 程 度 進 ん だ と 思 う  (注 1)		あ ま り 進 ん で い な い と 思 う  (注 2)	ほ と ん ど 進 ん で い な い と 思 う  (注 2)		
	人	%	%	%	%	%	%	%	
平成19年2月調査	1,815	61.2	12.9	48.3	32.6	26.6	6.0	1.9	4.2
平成24年7月調査	1,913	49.0	7.1	41.9	42.8	34.7	8.2	1.9	6.3
平成29年8月調査 (うち20歳以上)	1,740	54.1	8.0	46.1	33.4	28.2	5.2	4.4	8.1
平成29年8月調査	1,771	54.4	8.1	46.3	33.3	28.2	5.1	4.3	8.0

(注1) 平成19年2月調査では、「少し進んだと思う」となっている。

(注2) 平成24年7月調査までは、それぞれ「進んだと思わない(小計)」、「あまり進んだと思わない」、「ほとんど進んだと思わない」となっている。

(注3) 平成24年7月調査までは、「5年前と比べて福祉・教育・雇用・まちづくりなどの障害者施策は進んだと思いますか。」と聞いている。

(注4) 平成29年8月調査までは、調査員による個別面接聴取法で実施しているため、令和4年11月調査との単純比較は行わない。

(7) 国や地方公共団体への要望

問 17. あなたは、障害のある人に関する国や地方公共団体の施策のうち、もっと力を入れる必要があると思うものは何ですか。(〇はいくつでも)

(上位4項目)  
令和4年11月

- ・ 障害のある人に配慮した住宅や建物、交通機関の整備 59.0%
- ・ 障害に応じた職業訓練の充実や雇用の確保 57.7%
- ・ 障害のある子どもの相談・支援体制や教育と、障害のある人への生涯学習の充実 55.0%
- ・ 障害のある人への理解を深めるための啓発・広報活動 47.8%

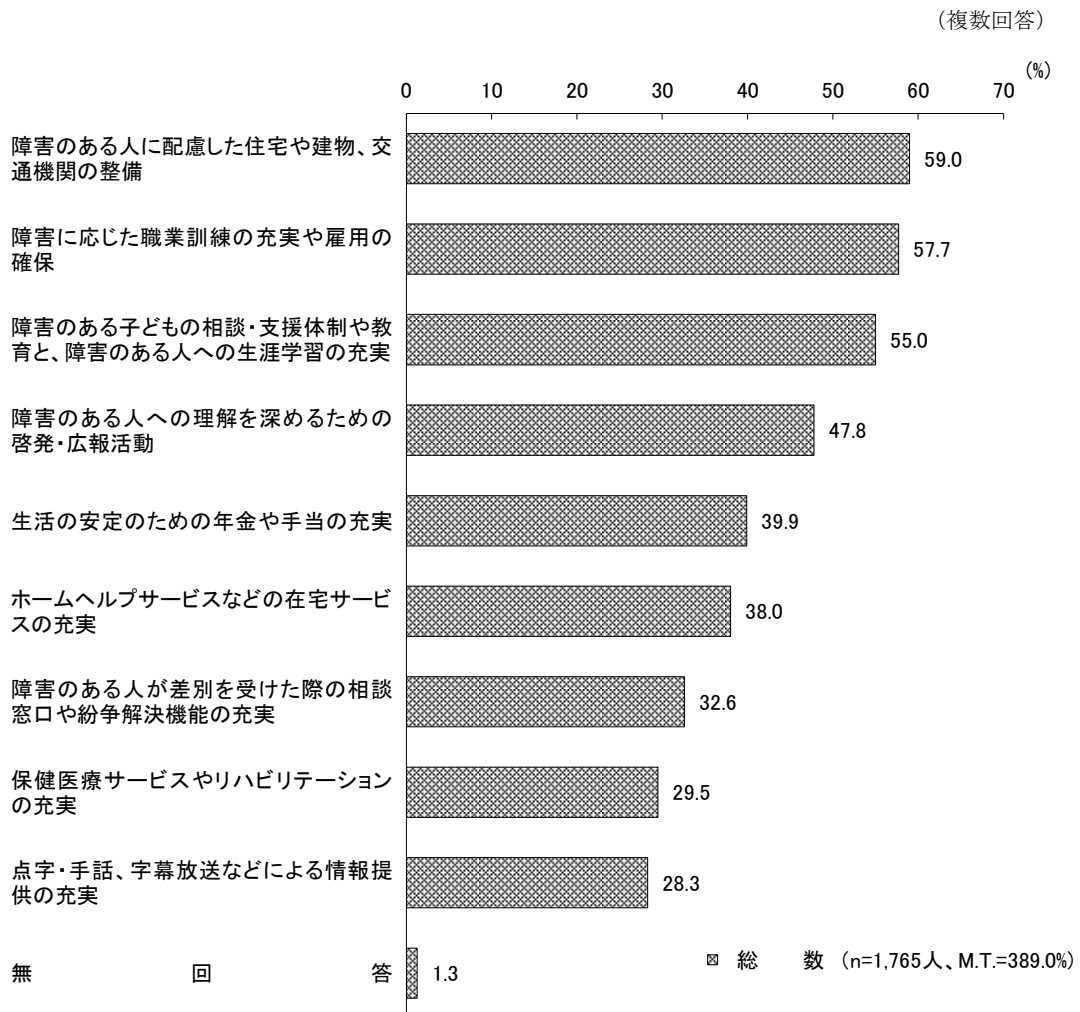


表 17 国や地方公共団体への要望

(複数回答)

	該 当 者 数	障害のある人に配慮した住	障害のある人に配慮した住	障害のある子どもとの相談・	障害のある人への理解を深	生活の安定のための年金や	ホームヘルプサービスなどの	機能の充実	障害のある人が差別を受け	保健医療サービスやリハビ	点字・手話、字幕放送など	無	計 (M.T.)
		宅や建物、交通機関の整備	宅や建物の確保	支援体制や教育と、障害の充	めるための啓発・広報活動	手当の充実	在宅サービスの実	の充実	た際の相談窓口や紛争解決	リテーションの充実	による情報提供の充実	回答	
	人	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
総数	1,765	59.0	57.7	55.0	47.8	39.9	38.0	32.6	29.5	28.3	1.3	389.0	
[都市規模]													
大都市	510	61.4	54.3	52.2	49.2	36.9	38.0	34.1	30.6	29.4	1.0	387.1	
東京都	128	68.0	58.6	50.8	51.6	37.5	35.9	37.5	28.1	33.6	1.6	403.1	
政令指定都市	382	59.2	52.9	52.6	48.4	36.6	38.7	33.0	31.4	28.0	0.8	381.7	
中核都市	726	59.2	60.9	56.9	47.5	40.9	39.4	32.8	28.8	28.4	1.2	396.0	
小都市	385	54.5	55.8	53.5	47.8	41.3	36.1	29.1	29.1	26.8	1.6	375.6	
町村	144	61.1	58.3	59.0	44.4	41.7	35.4	36.1	30.6	27.8	2.1	396.5	
[性別]													
男性	795	53.2	57.5	51.3	51.2	40.6	35.0	30.3	27.5	26.4	1.4	374.5	
女性	970	63.7	57.8	57.9	45.1	39.3	40.4	34.5	31.1	29.8	1.2	400.9	
[年齢]													
18～29歳	152	55.9	46.7	52.0	44.7	33.6	28.3	27.6	23.7	30.9	1.3	344.7	
30～39歳	172	64.0	58.7	60.5	39.5	35.5	36.6	23.8	26.7	34.9	-	380.2	
40～49歳	289	56.1	60.9	57.1	46.0	32.5	33.2	28.0	25.3	25.6	0.7	365.4	
50～59歳	313	68.4	62.3	55.6	46.3	37.1	40.9	31.9	30.0	32.6	0.6	405.8	
60～69歳	342	59.6	61.4	55.6	49.1	44.2	40.4	36.0	30.4	28.7	1.5	406.7	
70歳以上	497	53.5	53.3	51.9	52.7	46.5	40.6	38.0	33.8	23.7	2.4	396.6	

表 17-参考 国や地方公共団体への要望

(複数回答)

	該 当 者 数	障害のある人に配慮した住宅や建	障害のある人に配慮した住宅や建	障害のある子どもとの相談・	障害のある人への理解を深めるた	ホームヘルプサービスなどの在宅	機能の充実	障害のある人が差別を受け	保健医療サービスやリハビリテ	点字・手話、字幕放送などによる	その他	わ	計 (M.T.)
		物の交通機関の整備	物の交通機関の整備	涯学習の充実(注1)	め	サー	シ	相	情	そ	か		
	人	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
平成19年2月調査	1,815	52.9	49.6	49.0	57.8	51.3	36.6	46.3	※	34.7	0.1	3.5	381.8
平成24年7月調査	1,913	49.7	50.4	54.3	50.5	46.0	39.7	40.4	※	36.2	0.6	3.6	371.4
平成29年8月調査 (うち20歳以上)	1,740	52.2	50.3	48.2	48.1	44.0	40.3	37.5	36.3	32.9	0.9	5.2	395.9
平成29年8月調査	1,771	52.0	50.4	48.1	47.9	43.6	40.3	37.4	36.0	33.1	0.8	5.1	394.7

(注1) 平成24年7月調査までは、「障害のある子どもとの相談・支援体制や教育の充実」となっている。

(注2) 平成19年2月調査では、「障害のある人々への理解を深めるための啓発・広報活動」となっている。

(注3) 平成29年8月調査までは、調査員による個別面接聴取法で実施しているため、令和4年11月調査との単純比較は行わない。

( 8 ) 企業や民間団体への要望

問 18. あなたは、障害のある人のために企業や民間団体が行う活動について、どのようなことを希望しますか。(〇はいくつでも)

(上位4項目)  
令和4年11月

- ・ 障害者になっても継続して働くことができる体制の整備 72.5%
- ・ 障害のある人の雇用の促進 64.2%
- ・ 障害のある人に配慮した事業所などの改善・整備 42.4%
- ・ 障害のある人への理解を深めるための研修の実施 38.8%

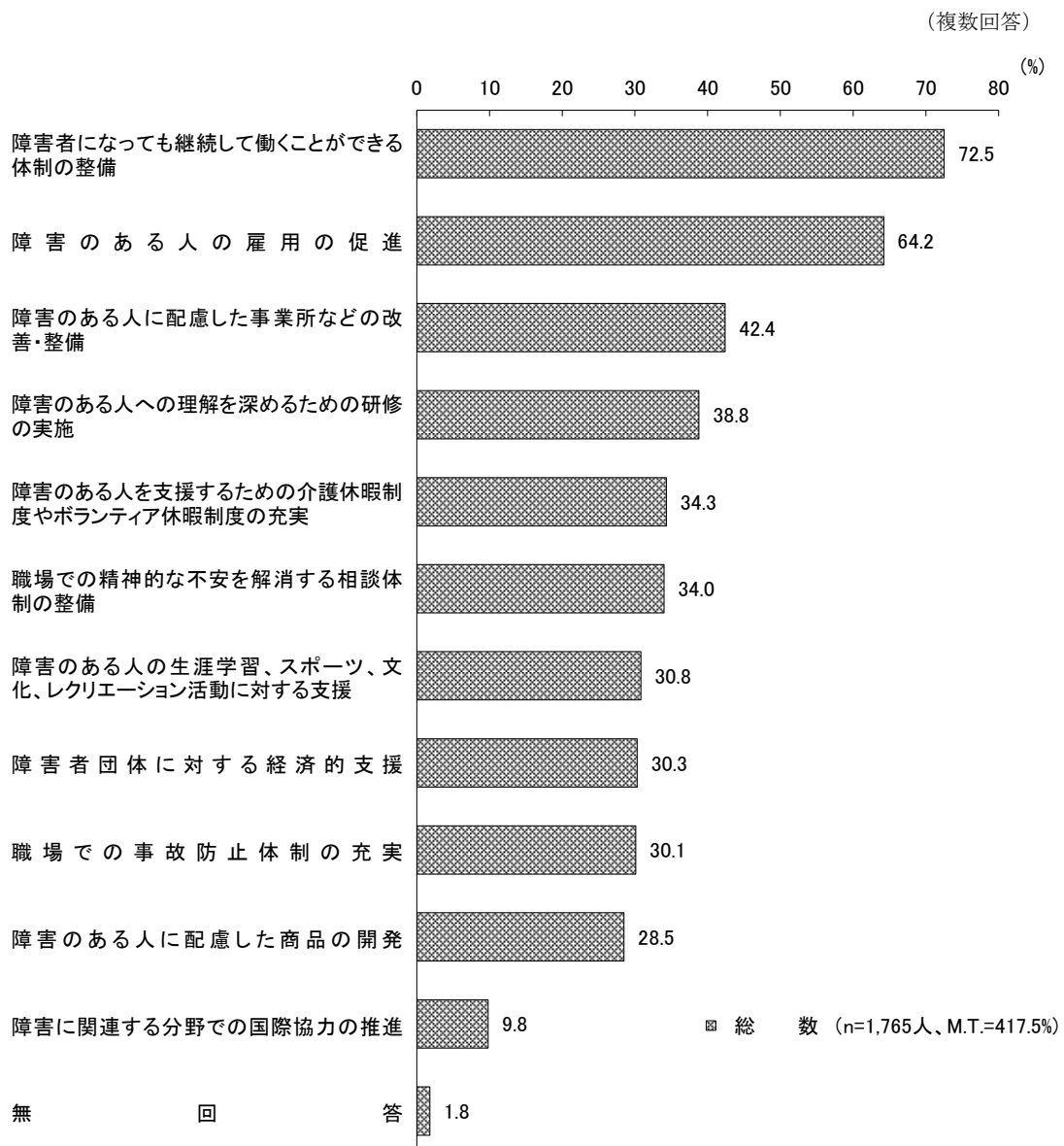


表 18 企業や民間団体への要望

(複数回答)

	該 当 者 数	障害者になっても継続して働くことができる体制の整備	障害のある人の雇用の促進	障害のある人に配慮した事業所などの改善・整備	障害のある人への理解を深めるための研修の実施	障害のある人を支援するための休暇制度やボランティア休暇の充実	職場での精神的な不安を解消する相談体制の整備	障害のある人の生涯学習、スポーツ、文化、レクリエーション活動に対する支援	障害者団体に対する経済的支援	職場での事故防止体制の充実	障害のある人に配慮した商品の開発	障害に関連する分野での国際協力力の推進	無 回 答	計 (M.T.)
		%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
総数 〔都市規模〕	1,765	72.5	64.2	42.4	38.8	34.3	34.0	30.8	30.3	30.1	28.5	9.8	1.8	417.5
大都市	510	72.5	64.7	40.6	38.0	35.3	35.1	27.5	26.7	30.0	28.8	9.8	1.6	410.6
東京都区部	128	72.7	66.4	38.3	39.8	35.2	35.9	33.6	28.1	30.5	33.6	11.7	2.3	428.1
政令指定都市	382	72.5	64.1	41.4	37.4	35.3	34.8	25.4	26.2	29.8	27.2	9.2	1.3	404.7
中都市	726	74.1	64.2	43.9	40.8	35.1	35.4	33.7	32.8	29.6	29.6	11.0	1.7	432.0
小都市	385	69.9	64.2	40.5	35.1	31.4	28.3	28.3	28.8	29.6	24.2	7.0	2.1	389.4
町	144	71.5	63.2	45.8	41.0	34.7	38.2	34.0	34.0	34.7	33.3	11.1	2.8	444.4
〔性〕														
男性	795	69.4	63.4	41.6	36.5	30.4	29.9	29.7	30.1	27.4	25.5	9.9	2.3	396.2
女性	970	75.1	64.9	43.0	40.6	37.5	37.3	31.6	30.4	32.4	30.9	9.7	1.4	434.9
〔年齢〕														
18～29歳	152	69.7	53.9	35.5	43.4	29.6	36.2	32.9	29.6	30.9	27.0	12.5	2.0	403.3
30～39歳	172	77.9	61.0	43.6	36.6	37.2	30.8	23.8	25.6	37.8	29.7	11.0	0.6	415.7
40～49歳	289	76.8	63.0	37.0	34.9	37.7	29.4	28.0	24.6	26.3	28.4	8.3	1.0	395.5
50～59歳	313	74.8	64.5	47.6	42.2	32.3	38.3	31.0	28.1	31.9	29.4	9.9	1.3	431.3
60～69歳	342	75.7	69.6	44.7	38.0	36.5	33.9	29.2	33.0	28.9	29.8	9.6	1.8	431.0
70歳以上	497	65.4	65.4	42.3	38.6	32.6	34.4	35.0	34.8	29.2	27.2	9.5	3.0	417.3

表 18-参考 企業や民間団体への要望

(複数回答)

	該 当 者 数	障害のある人の雇用の促進 (注1)	障害者になっても継続して働くことができる体制の整備	障害のある人に配慮した事業所等の改善・整備	職場での事故防止体制の充実	職場での精神的な不安を解消する相談体制の整備	障害のある人への理解を深めるための研修の実施 (注2)	障害のある人を支援するための休暇制度やボランティア休暇の充実 (注3)	障害者団体に対する経済的支援	障害のある人の生涯学習、スポーツ、文化、レクリエーション活動に対する支援 (注5)	障害のある人に配慮した商品の開発 (注4)	障害に関連する分野での国際協力力の推進	その他	わ か ら な い	計 (M.T.)
		%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
平成9年7月調査	2,238	56.7	48.6	29.5	20.8	26.9	18.9	19.8	22.6	21.3	20.3	6.2	0.4	8.5	300.4
平成19年2月調査	1,815	64.2	58.0	46.0	37.9	37.9	36.4	41.5	38.8	37.6	42.8	21.5	-	6.1	468.9
平成24年7月調査	1,913	67.3	61.4	49.5	41.3	40.7	37.7	42.7	41.5	38.7	37.4	23.7	0.4	4.3	486.6
平成29年8月調査 (うち20歳以上)	1,740	66.7	62.3	49.0	42.9	42.2	39.3	39.3	39.0	38.9	38.3	22.5	0.6	5.5	486.3
平成29年8月調査	1,771	66.3	62.3	49.0	42.6	42.0	39.5	39.2	39.2	38.8	38.4	22.5	0.6	5.4	485.8

(注1) 平成9年7月調査では、「障害のある人々の雇用の促進」となっている。

(注2) 平成9年7月調査では、「障害や障害のある人々への理解を深めるための研修の実施」となっている。

(注3) 平成9年7月調査では、「ボランティア休暇の制度化」となっている。

(注4) 平成9年7月調査では、「障害のある人々に配慮した商品の開発」となっている。

(注5) 平成9年7月調査では、「障害のある人々のスポーツ、文化、レクリエーション活動に対する支援」となっている。

また、平成19年2月調査、平成24年7月調査では、「障害のある人のスポーツ、文化、レクリエーション活動に対する支援」となっている。

(注6) 平成29年8月調査までは、調査員による個別面接聴取法で実施しているため、令和4年11月調査との単純比較は行わない。



(9) しょうがいの表記

問 19. 「しょうがい」の表記について、法令では「障害」を使っていますが、この表記の在り方については、さまざまな意見があります。あなたは、「しょうがい」の表記として、どれがふさわしいと思いますか。(○は1つ)

令和4年11月

しょうがい	障害	29.5%
しょうがい	障碍	3.0%
しょう	障がい	39.8%
	どれでもよい	26.1%

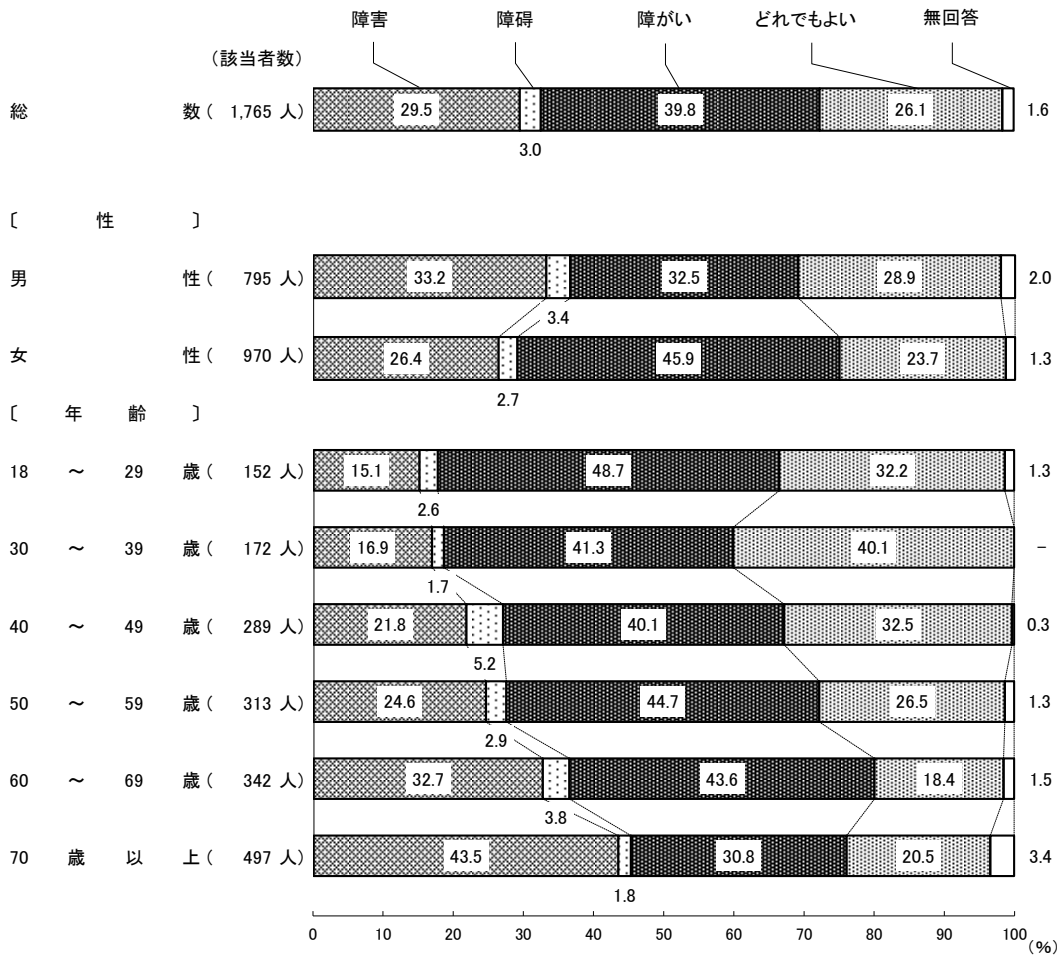


表 19 しょうがいの表記

	該 当 者 数	障 害	障 碍	障 が い	ど れ で も よ い	無 回 答
	人	%	%	%	%	%
総 〔都市規模〕 大 都 市	1,765	29.5	3.0	39.8	26.1	1.6
東 京 都 区 部	510	31.2	2.0	39.6	25.9	1.4
政 令 指 定 都 市	128	32.0	3.9	43.0	19.5	1.6
中 都 市	382	30.9	1.3	38.5	28.0	1.3
小 都 市	726	27.4	4.0	41.3	25.2	2.1
町 村	385	31.7	2.6	37.9	26.8	1.0
〔性〕	144	27.8	2.8	38.2	29.2	2.1
男 性	795	33.2	3.4	32.5	28.9	2.0
女 性	970	26.4	2.7	45.9	23.7	1.3
〔年 齢〕						
18 ～ 29 歳	152	15.1	2.6	48.7	32.2	1.3
30 ～ 39 歳	172	16.9	1.7	41.3	40.1	-
40 ～ 49 歳	289	21.8	5.2	40.1	32.5	0.3
50 ～ 59 歳	313	24.6	2.9	44.7	26.5	1.3
60 ～ 69 歳	342	32.7	3.8	43.6	18.4	1.5
70 歳 以 上	497	43.5	1.8	30.8	20.5	3.4

表 19－参考 しょうがいの表記

	該 当 者 数	障 害	障 碍	障 が い	ど れ で も よ い	そ の 他	わ か ら な い
	人	%	%	%	%	%	%
平成 24 年 7 月 調 査	1,913	33.8	2.4	35.5	21.9	1.7	4.6
平成 29 年 8 月 調 査 (うち 20 歳 以上)	1,740	31.8	2.4	39.9	18.7	1.2	5.9
平成 29 年 8 月 調 査	1,771	31.6	2.5	40.1	18.8	1.2	5.8

(注) 平成29年8月調査までは、調査員による個別面接聴取法で実施しているため、令和4年11月調査との単純比較は行わない。

# 障害者に関する世論調査

令和4年11月

(n=1,765)

## 障害者と共生社会についておうかがいします

### この下の問1からお答えください

問1. あなたは、障害のある・なしにかかわらず、誰もが社会の一員としてお互いを尊重し、支え合って暮らすことを目指す「共生社会」という考え方を知っていますか。(は1つ)

- (48.5) 1. 知っている
- (31.5) 2. 言葉だけは聞いたことがある
- (19.3) 3. 知らない
- (0.7) 無回答

問2. 国や地方公共団体では、「共生社会」の考え方に基づいて、障害のある人もない人も共に生活できるための環境づくりを進めています。あなたは、この「障害のある人が身近で普通に生活しているのが当たり前だ」という考え方について、どう思いますか。(は1つ)

- (64.8) 1. 当たり前だと思う
- (29.1) 2. どちらかといえば当たり前だと思う
- (4.1) 3. どちらかといえば当たり前だと思わない
- (1.4) 4. 当たり前だと思わない
- (0.6) 無回答

問3. 国は、障害や障害のある人に関する理解と関心を深め、障害のある人の社会参加への意欲を高めるために、毎年12月3日から12月9日までの1週間で「障害者週間」と定めて、さまざまな取り組みを行っています。あなたは、「障害者週間」を知っていますか。(は1つ)

- (1.3) 1. 月日も含めて知っている
  - (27.8) 2. 月日までは知らないが、「障害者週間」があることは知っている
  - (69.9) 3. 知らない
  - (1.0) 無回答
- 1又は2と答えた方は問4へ

右の段の問5に進んでください

問3で「1.月日も含めて知っている」、「2.月日までは知らないが、「障害者週間」があることは知っている」と答えた方への質問

問4. 「障害者週間」を何によって知りましたか。(はいくつでも)

- (n=514)
- (62.8) 1. テレビ、ラジオ
  - (44.7) 2. 新聞
  - (4.7) 3. 国や地方公共団体のホームページ
  - (2.5) 4. 障害者関係団体のホームページ
  - (1.9) 5. 国や地方公共団体、障害者関係団体以外のホームページ
  - (27.6) 6. 国や地方公共団体の広報誌、ポスター、パンフレット
  - (10.7) 7. 障害者関係団体の広報誌、ポスター、パンフレット
  - (7.2) 8. 国や地方公共団体、障害者関係団体以外の広報誌、ポスター、パンフレット
  - (8.0) 9. 国や地方公共団体の行事や催し
  - (10.3) 10. 障害者関係団体の行事や催し
  - (2.7) 11. 国や地方公共団体、障害者関係団体以外の行事や催し
  - (6.2) 12. 人から聞いて
  - (4.3) 13. その他(具体的に→)
  - (5.3) 無回答 (M. T. =199.0)

ここからは、障害者との交流についておうかがいします

### ここからは全員の方がお答えください

問5. あなたは、障害のある人が困っているときに、手助けをしたことがありますか。(は1つ)

- (61.9) 1. したことがある
  - (36.7) 2. したことがない
  - (1.5) 無回答
- 次のページの問8に進んでください
- 次のページの問7に進んでください

次のページの問6に進んでください

**問5で「1.したことがある」と答えた方への質問**

**問6.手助けをしたのは、どのような理由からでしょうか。(はいくつでも)**

(n=1,092)

- (27.6) 1.身内などに障害のある人がいて、その大変さを知っているから
- (16.0) 2.近所付き合いや親戚付き合いなどで手助けをするのが自然な環境であったから
- (65.8) 3.困っているときはお互い様という気持ちから
- (19.5) 4.自分の仕事に関連していたから
- (13.7) 5.将来、自分も障害者になるかもしれないから
- (54.4) 6.障害のある人を手助けするのは当たり前のことだと思うから
- (1.4) 7.障害のある人への手助けを求めるキャンペーンなどを見たから
- (25.2) 8.何となく手助けをしたいと思ったから
- (1.0) 無回答 (M.T.=224.6)

**右の段の問8に進んでください**

**問5で「2.したことがない」と答えた方への質問**

**問7.手助けをしたことがないのは、どのような理由からでしょうか。(はいくつでも)**

(n=647)

- (10.0) 1.自分が何をすればよいかわからなかったから
- (16.5) 2.どのように接したらよいかわからなかったから
- (8.7) 3.お節介になるような気がしたから
- (4.9) 4.専門の人や関係者にまかせた方がよいと思ったから
- (1.1) 5.自分にとって負担になるような気がしたから
- (79.4) 6.困っている障害者を見かける機会がなかったから
- (0.6) 無回答 (M.T.=121.3)

**右の段の問8に進んでください**

**ここからは全員の方がお答えください**

**問8.あなたは、世の中には障害のある人に対して、障害を理由とする差別や偏見があると思いますか。(は1つ)**

- (47.5) 1.あると思う
- (41.0) 2.ある程度はあると思う
- (7.5) 3.あまりないと思う
- (2.3) 4.ないと思う
- (1.7) 無回答

3又は4と答えた方、無回答は問10へ

**問8で「1.あると思う」、「2.ある程度はあると思う」と答えた方への質問**

**問9.今から5年前と比べて障害のある人に対する差別や偏見は改善されたと思いますか。(は1つ)**

(n=1,562)

- (9.5) 1.かなり改善されたと思う
- (49.4) 2.ある程度改善されたと思う
- (34.2) 3.あまり改善されていないと思う
- (6.2) 4.ほとんど改善されていないと思う
- (0.7) 無回答

**ここからは、障害者関連施策についておうかがいします**

**ここからは全員の方がお答えください**

**問10.いわゆる「障害者権利条約」は、国連が障害者の権利や尊厳を保護・促進するため、障害を理由とする差別の禁止や、障害のある人が障害のない人と同じように暮らすためのさまざまな施策を定めたもので、日本は平成26年1月に締結しました。あなたは、「障害者権利条約」を知っていますか。(は1つ)**

- (2.2) 1.条約の内容も含めて知っている
- (22.5) 2.内容は知らないが、条約があることは知っている
- (73.7) 3.知らない
- (1.6) 無回答

**右のページの問11に進んでください**

問 11. 障害のある人もない人も、互いに、その人らしさを認め合いながら共に生きる社会づくりを目指すため、平成28年4月からいわゆる「障害者差別解消法」が施行され、令和3年6月には改正法も公布されています。あなたは、「障害者差別解消法」を知っていますか。  
( は1つ)

- ( 2.0 ) 1. 法律の内容を、改正法の内容も含めて知っている
  - ( 3.7 ) 2. 内容は知っているが、改正されたことは知らない
  - (18.3) 3. 内容は知らないが、法律があることは知っている
  - (74.6) 4. 知らない
  - ( 1.4 ) 無回答
- 4と答えた方、  
無回答は問 13 へ

問 11 で「1. 法律の内容を、改正法の内容も含めて知っている」、「2. 内容は知っているが、改正されたことは知らない」、「3. 内容は知らないが、法律があることは知っている」と答えた方への質問

問 12. 「障害者差別解消法」を何によって知りましたか。  
( はいくつでも)

- (n=424)
- (58.0) 1. テレビ、ラジオ
  - (46.5) 2. 新聞
  - ( 8.0) 3. 国や地方公共団体のホームページ
  - ( 5.4) 4. 障害者関係団体のホームページ
  - ( 1.4) 5. 国や地方公共団体、障害者関係団体以外のホームページ
  - (19.1) 6. 国や地方公共団体の広報誌、ポスター、パンフレット
  - (11.3) 7. 障害者関係団体の広報誌、ポスター、パンフレット
  - ( 7.3) 8. 国や地方公共団体、障害者関係団体以外の広報誌、ポスター、パンフレット
  - ( 5.9) 9. 国や地方公共団体の行事や催し
  - ( 9.0) 10. 障害者関係団体の行事や催し
  - ( 2.1) 11. 国や地方公共団体、障害者関係団体以外の行事や催し
  - (10.4) 12. 人から聞いて
  - ( 8.0) 13. その他 (具体的に→) \_\_\_\_\_
  - ( 2.1) 無回答 (M. T. =194.6)

右の段の 問 13 に進んでください

ここからは全員の方がお答えください

問 13. 障害のある人とない人が同じように生活するためには、例えば、受付窓口で耳の不自由な方に筆談で対応したり、商店で高い棚にある商品を店員が代わりに取ってあげたりするなど、さまざまな配慮や工夫が必要になることがあります。あなたは、もし、こうした配慮や工夫が行われなかったとしたら、それが「障害を理由とする差別」に当たる場合があると思いますか。( は1つ)

- (26.8) 1. 差別に当たる場合があると思う
- (37.9) 2. どちらかといえば差別に当たる場合があると思う
- (17.1) 3. どちらかといえば差別に当たる場合があるとは思わない
- (16.0) 4. 差別に当たる場合があるとは思わない
- ( 2.2) 無回答

問 14. 政府は、毎年、国会に、障害者のために講じた施策の概況に関する報告書を提出しています。内閣府では、この報告書を「障害者白書」として公表しています。この「障害者白書」を読んだことはありますか。  
( は1つ)

- ( 1.0) 1. ある
- ( 6.1) 2. 障害者白書を知っているが、読んだことはない
- (91.2) 3. ない
- ( 1.8) 無回答

次のページの 問 15 に進んでください

問15. 障害者団体などでは、障害者を支援するため、さまざまなマークを作成し、周知に努めています。  
あなたは、この中で知っているマークはありますか。(はいいくつでも)

- (95.6) 1. 車椅子で表された障害者のための国際シンボルマーク (21.8) 8. ハート・プラスマーク



- (73.4) 2. 四つ葉のクローバーで表された身体障害者マーク (1.8) 9. ヒアリングループマーク



- (26.6) 3. チョウで表された聴覚障害者マーク (3.5) 10. 「白杖SOSシグナル」普及啓発シンボルマーク



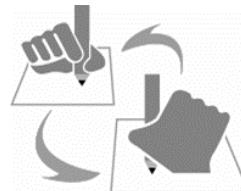
- (46.3) 4. 盲人のための国際シンボルマーク (52.3) 11. ヘルプマーク



- (14.6) 5. 耳マーク (16.8) 12. 手話マーク



- (45.8) 6. ほじょ犬マーク (6.7) 13. 筆談マーク



- (25.2) 7. オストメイトマーク (0.4) 14. 知っているマークはない  
(2.3) 無回答 (M.T.=433.0)



右のページの【資料】に進んでください

全員の方が【資料】を読んでから下の問16以降にお答えください

【資料】

国や地方公共団体では、「共生社会」の考え方に基づいて、障害のある人もない人も共に生活できるための環境づくりを進めており、障害のある人に関する主な施策として以下のような取り組みを行っています。

- ・障害のある人への理解を深めるための啓発・広報活動
- ・ホームヘルプサービスなどの在宅サービスの充実
- ・生活の安定のための年金や手当の充実
- ・障害のある人に配慮した住宅や建物、交通機関の整備
- ・障害のある子どもの相談・支援体制や教育と、障害のある人への生涯学習の充実
- ・障害に応じた職業訓練の充実や雇用の確保
- ・保健医療サービスやリハビリテーションの充実
- ・点字・手話、字幕放送などによる情報提供の充実
- ・障害のある人が差別を受けた際の相談窓口や紛争解決機能の充実

問16. あなたは、今から5年前と比べてこれらの障害者施策は進んだと思いますか。(は1つ)

- (11.0) 1. かなり進んだと思う
- (51.5) 2. ある程度進んだと思う
- (31.5) 3. あまり進んでいないと思う
- (4.0) 4. ほとんど進んでいないと思う
- (1.9) 無回答

問17. あなたは、障害のある人に関する国や地方公共団体の施策のうち、もっと力を入れる必要があると思うものは何ですか。(はいくつでも)

- (47.8) 1. 障害のある人への理解を深めるための啓発・広報活動
- (38.0) 2. ホームヘルプサービスなどの在宅サービスの充実
- (39.9) 3. 生活の安定のための年金や手当の充実
- (59.0) 4. 障害のある人に配慮した住宅や建物、交通機関の整備
- (55.0) 5. 障害のある子どもの相談・支援体制や教育と、障害のある人への生涯学習の充実
- (57.7) 6. 障害に応じた職業訓練の充実や雇用の確保
- (29.5) 7. 保健医療サービスやリハビリテーションの充実
- (28.3) 8. 点字・手話、字幕放送などによる情報提供の充実
- (32.6) 9. 障害のある人が差別を受けた際の相談窓口や紛争解決機能の充実
- (1.3) 無回答 (M. T. =389.0)

問18. あなたは、障害のある人のために企業や民間団体が行う活動について、どのようなことを希望しますか。

(はいくつでも)

- (64.2) 1. 障害のある人の雇用の促進
- (72.5) 2. 障害者になっても継続して働くことができる体制の整備
- (42.4) 3. 障害のある人に配慮した事業所などの改善・整備
- (34.0) 4. 職場での精神的な不安を解消する相談体制の整備
- (30.1) 5. 職場での事故防止体制の充実
- (34.3) 6. 障害のある人を支援するための介護休暇制度やボランティア休暇制度の充実
- (38.8) 7. 障害のある人への理解を深めるための研修の実施
- (28.5) 8. 障害のある人に配慮した商品の開発
- (9.8) 9. 障害に関連する分野での国際協力の推進
- (30.8) 10. 障害のある人の生涯学習、スポーツ、文化、レクリエーション活動に対する支援
- (30.3) 11. 障害者団体に対する経済的支援
- (1.8) 無回答 (M. T. =417.5)

問19. 「しょうがい」の表記について、法令では「障害」を使っていますが、この表記の在り方については、さまざまな意見があります。あなたは、「しょうがい」の表記として、どれがふさわしいと思いますか。

(は1つ)

- (29.5) 1. 障害しょうがい
- (3.0) 2. 障しょうがい碍
- (39.8) 3. 障しょうがい
- (26.1) 4. どれでもよい
- (1.6) 無回答

次のページのF1に進んでください

ご回答を統計的に分析するために、あなたご自身のこと  
をおうかがいします

F1. 差し支えなければ、あなたの性別をお答えください。  
( は1つ)

(45.0) 1. 男性 (55.0) 2. 女性

F2. あなたのお年は満でいくつですか。年齢をお書き  
ください。

	歳
--	---

( 1. 1) 18～19 歳 ( 8. 0) 40～44 歳 (10. 5) 65～69 歳  
( 3. 4) 20～24 歳 ( 8. 3) 45～49 歳 ( 9. 9) 70～74 歳  
( 4. 1) 25～29 歳 ( 9. 2) 50～54 歳 ( 8. 6) 75～79 歳  
( 4. 8) 30～34 歳 ( 8. 5) 55～59 歳 ( 9. 7) 80 歳以上  
( 5. 0) 35～39 歳 ( 8. 8) 60～64 歳

F3. あなたのお仕事についておうかがいします。あなたは、  
この中のどれに当たりますか。どれに当てはまるかわ  
からない場合には、「8.」に をつけ、「その他」の欄  
にできるだけ具体的にお書きください。( は1つ)

(32. 4) 1. 役員を含む、正規の職員・従業員  
(17. 1) 2. 期間従業員、契約社員、派遣社員を  
含む、非正規の職員・従業員  
( 7. 4) 3. 自分で、または共同で事業を営んでいる  
自営業主、自由業  
( 2. 5) 4. 家族従業者・家族が営んでいる事業を  
手伝っている者  
(17. 6) 5. 主婦・主夫  
( 2. 9) 6. 学生  
(17. 9) 7. 無職  
( 1. 5) 8. その他

※できるだけ具体的にお書きください。

--

( 0. 7) 無回答

F4. あなたの身近に障害のある人がいますか、または、  
これまでにいたことがありますか。( はいくつでも)

(39. 1) 1. 自分自身または家族など  
身近な親族にいる・いた  
(22. 7) 2. 学校にいる・いた  
(24. 9) 3. 自分の職場にいる・いた  
( 9. 7) 4. 自分の職場以外の仕事関係にいる・いた  
(20. 6) 5. 隣近所にいる・いた  
( 5. 2) 6. 趣味などの活動にいる・いた  
(22. 3) 7. 身近にいたことはない  
( 1. 3) 無回答 (M. T. =145. 8)

今後の調査実施の参考とするため、ここからは今回の  
調査についておうかがいします

問A. 今回の調査の答えやすさはどうでしたか。( は1つ)

(60. 1) 1. 答えやすかった  
(10. 8) 2. 答えにくかった  
(28. 3) 3. どちらともいえない  
( 0. 9) 無回答

問B. 今回の調査の分量はどうでしたか。( は1つ)

( 9. 1) 1. 少ないと感じた  
(81. 4) 2. 適当と感じた  
( 8. 3) 3. 多いと感じた  
( 1. 2) 無回答

問C. 今回の調査への回答に要した時間は、およそどれ  
くらいでしたか。( は1つ)

(51. 6) 1. 15分未満  
(40. 5) 2. 15～30分程度  
( 7. 2) 3. 30分以上  
( 0. 7) 無回答

問D. 今回の調査にご回答いただいたのは、どなた様  
ですか。( は1つ)

(97. 1) 1. 郵便宛名のご本人様  
( 2. 2) 2. ご本人様のご意見を代理の方が記入  
( - ) 3. 代理の方(代理の方のご意見を記入)

※代理の方が記入された理由をお教えてください。

--

( 0. 8) 無回答